

## (8) 奈良県園長等の資質向上に関する指標モデル

求められる役割

- 園内外の実態に基づいた園経営目標を提示し、広い視野とリーダーシップを発揮して園経営を推進する。
- 教職員の状況等を的確に把握し、個々の能力が最大限に発揮できるよう人材を配置し、健全で安全な組織づくりを推進する。
- 園の教育力増進のため、園をとりまく関係者の相互作用が活性化できるよう良好なコミュニケーションを推進する。

区分	項目	指標
基礎的資質	法令遵守 人権感覚	・高いコンプライアンス意識と豊かな人間性、鋭い人権感覚を有し、人権尊重の視点に立った園づくりに向けて、誠実かつ公正に職務に当たっている。
	決断力 発信力	・豊かな経験に基づいて的確に判断し迅速に決断する力を有し、教職員・幼児・保護者等に対して明確な意思や説得力のあるビジョンを発信している。
	情熱 責任感	・幼児への深い愛情と教職としての誇りをもって教育に当たるとともに、強い使命感と責任感をもって園経営に当たっている。
	自己教育力 探究心	・社会の動向や新しい教育課題を把握し、幅広い視野で園経営や幼児の育成が行えるよう、研修や情報収集に積極的・継続的に取り組んでいる。
マネジメント力	ビジョンと目標の具現化	・第2期奈良県教育振興大綱をはじめ、国や県、市町村の教育施策を理解した上で、自園の教育目標を設定し、その具現化に向け目標の共有と教職員間の連携を図りながら組織に取り組んでいる。
		・多様な教育的ニーズに応じた教育活動を推進し、全ての幼児が尊重される園づくりに取り組んでいる。
		・園評価など教育データの結果を踏まえ、教育活動や園運営の状況を把握し、園運営の改善と発展に取り組んでいる。
	教育課程と保育の改善	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自園の教育目標に基づき、学習上の課題を明確に捉えたとともに、カリキュラム・マネジメントの視点を持ち、「学ぶ力」と「生きる力」を育むための教育課程を編成している。</li> <li>・各教員に保育改善や園務改善につながるICT活用の必要性を理解させ、教員のICT活用指導力の向上及び自園の教育の情報化を計画的・組織的に推進している。</li> <li>・幼児と向き合ったり教材研究を行ったりする環境を整え、各教員のキャリアステージに応じて、保育改善等について適切な指導・助言を行っている。</li> <li>・質の高い教育を幼児に提供できるよう園内研修の推進を図る。</li> <li>・就学前教育に関わる研究会等の活動に積極的に関わるなど、県や都市での教育研究活動の推進に寄与している。</li> </ul>
情報分析活用能力	危機管理	・児童虐待や登園拒否等の諸課題に対して園内体制を整えるとともに、関係機関との連携を図りながら適切な対応方針を示している。
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・日常の園における安全管理及び保健管理に努めるとともに、災害や想定外の事態に備えて「危機管理マニュアル」の整備と周知を行い、組織的対応ができる体制を整えている。</li> <li>・危機発生時には関係機関と連携し、迅速かつ確かな指示をすることができる。</li> </ul>
		・予算執行、施設管理、文書管理及びセキュリティ管理等を適切に行っている。
	人材育成	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教職員一人一人の能力や適性を把握し、チームや学年等によるOJTを推進する。</li> <li>・各教員のキャリアステージ及び研修履歴等に応じた外部での研修（Off-JT）を促し、「学び続ける」教職員を育成している。</li> <li>・全ての教職員が特別支援教育に関する理解を深め、専門性をもって幼児の指導に当たれるよう、教職員配置や研修内容等を工夫している。</li> <li>・人事評価制度の意義を理解するとともに、「資質向上に関する指標」を活用して教職員に具体的な指導・助言を行い、資質・能力の向上を図っている。</li> <li>・日常のコミュニケーションを通して信頼関係を築くとともに、充実したラインケアの構築に努めている。</li> <li>・教職員にセルフケアを意識付け、メンタルヘルス不調の予防及び速やかな初期対応並びにハラスメント等の防止に努め、風通しがよく働きやすい職場づくりを行っている。</li> <li>・ワーク・ライフ・バランスの考え方にに基づき、教職員が心身ともに健康で誇りとやりがいをもって働くことができるよう、勤務時間等の管理を適正に行うなど、業務の改善や働き方の見直しを行っている。</li> </ul>
調整力	家庭・地域・関係機関との連携	・家庭や地域・関係機関等に園の方針や運営状況等を分かりやすく伝え、園経営目標を共有し、「地域と共にある園づくり」を推進している。
		・異校種間の接続・連携や近隣の施設や学校等との情報交換を積極的に行っている。
		・教育委員会や関係機関等と適切に連携し、調整を行いながら園の課題解決につなげている。

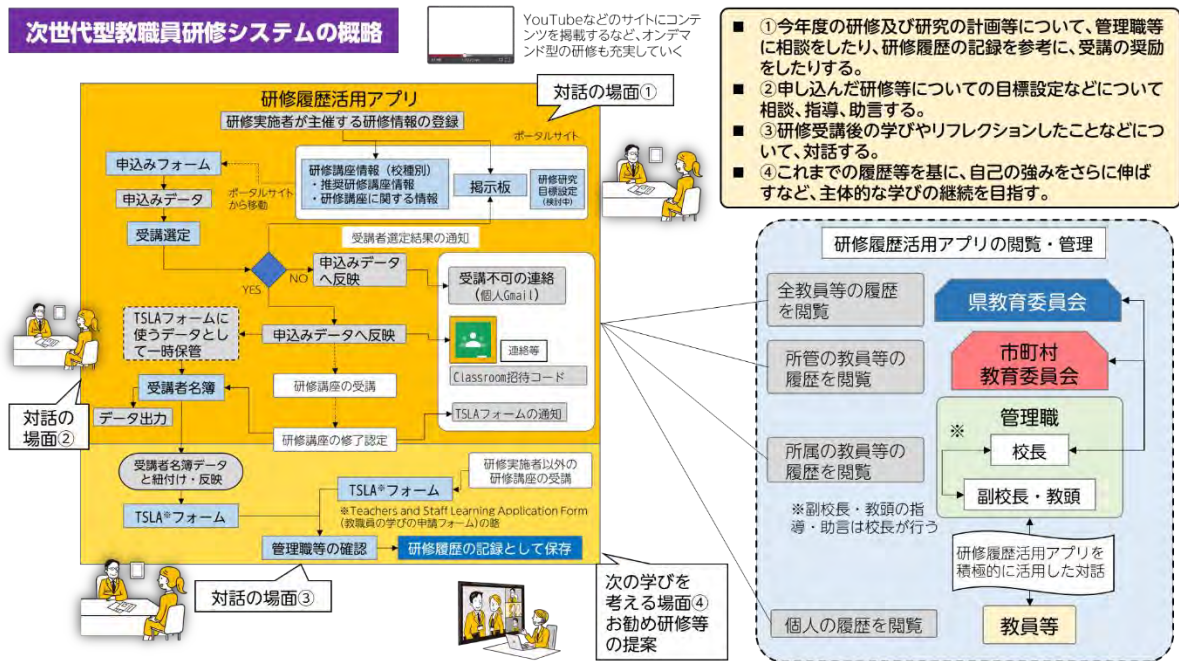
## 2 奈良県教職員の研修について

令和4年8月に、「改正教育公務員特例法に基づく公立の小学校等の校長及び教員としての資質の向上に関する指標の策定に関する指針の改正等について（通知）」が文部科学省から通知され、「研修履歴を活用した対話に基づく受講奨励に関するガイドライン」が策定されました。この中で、教師の資質向上のための取組の記録が「研修履歴」、資質の向上に関する指導・助言等が「対話に基づく受講奨励」と位置付けられました。

本県において、教職員の資質向上を図るためには「教職員自らが必要な学びを主体的に行うこと」が大切だと考えています。県教育委員会では、教職員の資質向上に生かす研修履歴が、教育公務員特例法第22条の3及び4に基づき、指標及び本教職員研修計画を踏まえて行う対話に基づく受講奨励において活用されることを基本としています。また、対話に基づく受講奨励は、教職員が自らの学びを振り返るとともに、学校管理職等が研修の奨励を含む適切な指導・助言を行うことにより、一人一人の教職員が自らの専門職性を高める営みと自覚し、主体的に研修等を行うためのものです。

県教育委員会では、これらの取組を通して本県教職員の効果的かつ主体的な資質向上・能力開発を図っていきます。そのため、教職員の資質向上に役立てる「研修履歴」の効果的な記録のための「研修履歴活用アプリ」を開発し、アプリを活用した教職員の効果的かつ主体的な資質向上・能力開発の仕組み（以下「次世代型教職員研修システム」）を構築しました。

次の図は、次世代型教職員研修システムの概略を示しています。次世代型教職員研修システムの特徴は、研修履歴活用アプリを活用する多くの場面で教職員と管理職等とが対話を行うことができることです。その他にも研修受講後にリフレクションしたり、研修履歴を可視化したりすることができます。また、Web上の動画配信プラットフォームを活用したオンデマンドコンテンツの充実も図りながら、次世代型教職員研修システムを利活用することで、教職員が自らの強みやさらに伸ばしたい分野が明確となり、学び続ける意欲の喚起に役立つことを期待しています。



## (1) 次世代型教職員研修システムによる教職員の資質向上について

### ア 対象となる教職員について

市町村立の小学校、中学校、義務教育学校、高等学校並びに県立学校に所属する校長、副校長、教頭、主幹教諭、指導教諭、教諭、養護教諭、栄養教諭及び講師（教育公務員特例法施行令（昭和24年政令第6号）第2条に規定する臨時的に任用された者等を除く。）が対象となります。ただし、県費負担教職員に限ります。

#### （臨時的任用教員の扱い）

臨時的任用教員について、法律に基づく研修履歴の記録及び対話に基づく受講奨励の対象ではありませんが、教育公務員特例法第21条第1項の規定により、その職責を遂行するために、絶えず研究と修養に努めなければならないことと変わらないことから、研修履歴を活用した対話に基づく受講奨励を行うことも可能とします。

#### （事務職員の扱い）

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第31条及び第37条の規定に基づく事務職員（地方公務員法第22条の3の臨時的任用職員も含むが、県費負担教職員に限る。）について、法律に基づく研修履歴の記録及び対話に基づく受講奨励の対象ではありませんが、地方公務員法第39条に基づき、教育公務員特例法第22条の3及び4に準じた研修履歴を活用した対話に基づく受講奨励を行うことも可能とします。

### イ 研修履歴活用アプリの利活用

研修履歴の記録は、県教育委員会が開発する研修履歴活用アプリで記録し、校長及び教職員が常時アプリ内で閲覧できるものとします。また、次世代型教職員研修システムにおけるそれぞれの役割については次の表に示すほか、研修履歴の記録の流れは後のフロー図のとおりとします。また、研修履歴活用アプリの利用方法については別に示します。

### ウ 役割

県教育委員会	<ul style="list-style-type: none"><li>○ 対象となる校長及び教職員の研修履歴の記録の作成及び管理</li><li>○ 県立学校長及び市町村教育委員会へ対象となる校長及び教職員の研修履歴の情報提供</li><li>○ 県立学校長への研修履歴を活用した対話に基づく受講奨励</li><li>○ 教職員研修計画に基づく体系的・計画的で持続的な資質向上の推進体制を整備</li></ul>
市町村教育委員会	<ul style="list-style-type: none"><li>○ 市町村立学校長へ対象となる校長及び教職員の研修履歴の情報提供</li><li>○ 市町村立学校長への研修履歴を活用した対話に基づく受講奨励</li></ul>
校長	<ul style="list-style-type: none"><li>○ 所属校の対象となる教職員への情報提供と研修履歴を活用した対話に基づく受講奨励</li></ul>
教職員	<ul style="list-style-type: none"><li>○ 教師の個別最適な学び、協働的な学びの充実を通じて、「主体的・対話的で深い学び」を実現するための取組</li></ul>

### エ 対話に基づく受講奨励

（学校管理職以外の教職員への対話に基づく受講奨励）

(ア) 学校管理職以外の教職員への指標等を踏まえた対話に基づく受講奨励は、校長が行う。

(イ) 対話に基づく受講奨励の方法、時期については、概略図及びフロー図で示す対話の場面等を参考に、校長が定める。

※ 校長は、適切な権限の委任の下で、副校長・教頭等の学校管理職と役割を分担することも可能です。

(校長等の学校管理職への対話に基づく受講奨励)

- (ウ) 校長以外の学校管理職へは、上記(ア)、(イ)に準じて校長が行う。
- (エ) 校長への対話に基づく受講奨励については次のとおりとする。

	指導助言者
県立学校長	県教育委員会
市町村立学校長	市町村教育委員会

#### オ 研修履歴の記録の範囲について

研修履歴の記録の範囲は、必須記録研修、任意記録研修及び研究活動とします。

区分	研修履歴に記録する研修の種類
【必須記録研修】	<ul style="list-style-type: none"><li>○ 研修実施者が実施する研修</li><li>○ 大学院修学休業により履修した大学院の課程等</li><li>○ 県教育委員会が開設した免許法認定講習及び認定通信教育による単位の修得</li></ul>
【任意記録研修】	<ul style="list-style-type: none"><li>○ 職務研修として行われる市町村教育委員会等が実施する研修等</li><li>○ 学校現場で日常的な学びとして行われる一定の校内研修</li><li>○ 教員等が自主的に参加する研修等 教職員支援機構、大学・教職大学院、民間企業等の様々な主体が主催する研修・講習等</li></ul>
【研究活動】	<ul style="list-style-type: none"><li>○ 国・県・市町村による研究委託（指定）、教科等研究会等における研究活動、学校ごとに主題を設定した上で組織的に行う研究活動、その他教育に係る自主的な研究活動等</li></ul>

#### カ 研修履歴の記録の内容

記録する項目は、研修等の区分、研修（研究）カテゴリー、教科等研修の教科等、キャリアステージ、研修に係る指標との関係、研修（研究）名、主催者（研究主体）、主催者（研究主体）の団体名、研修（研究）形態、研修（研究）日・期間等について記録します。また、研修（研究）後の自己のリフレクションも記録します。

#### コラム 「教師の専門性と研修」

教師は専門職人 (professional) です。何故かというと、教職という職業は、専門職 (profession) だからです。1966 (昭和 41) 年に ILO (国際労働機関) とユネスコ (国際連合教育科学文化機関) が共同発表した「教師の地位に関する勧告」で、「教職は、専門職とみなされるものとする」と規定されました。また、「教員には、厳しい不断の研究によって獲得され維持される卓越した知識や専門的技術が求められる」「受け持ちの児童生徒の教育と福祉に対して、教員個人の責任感と、教員集団としての責任感をもつこと」が強調されました。

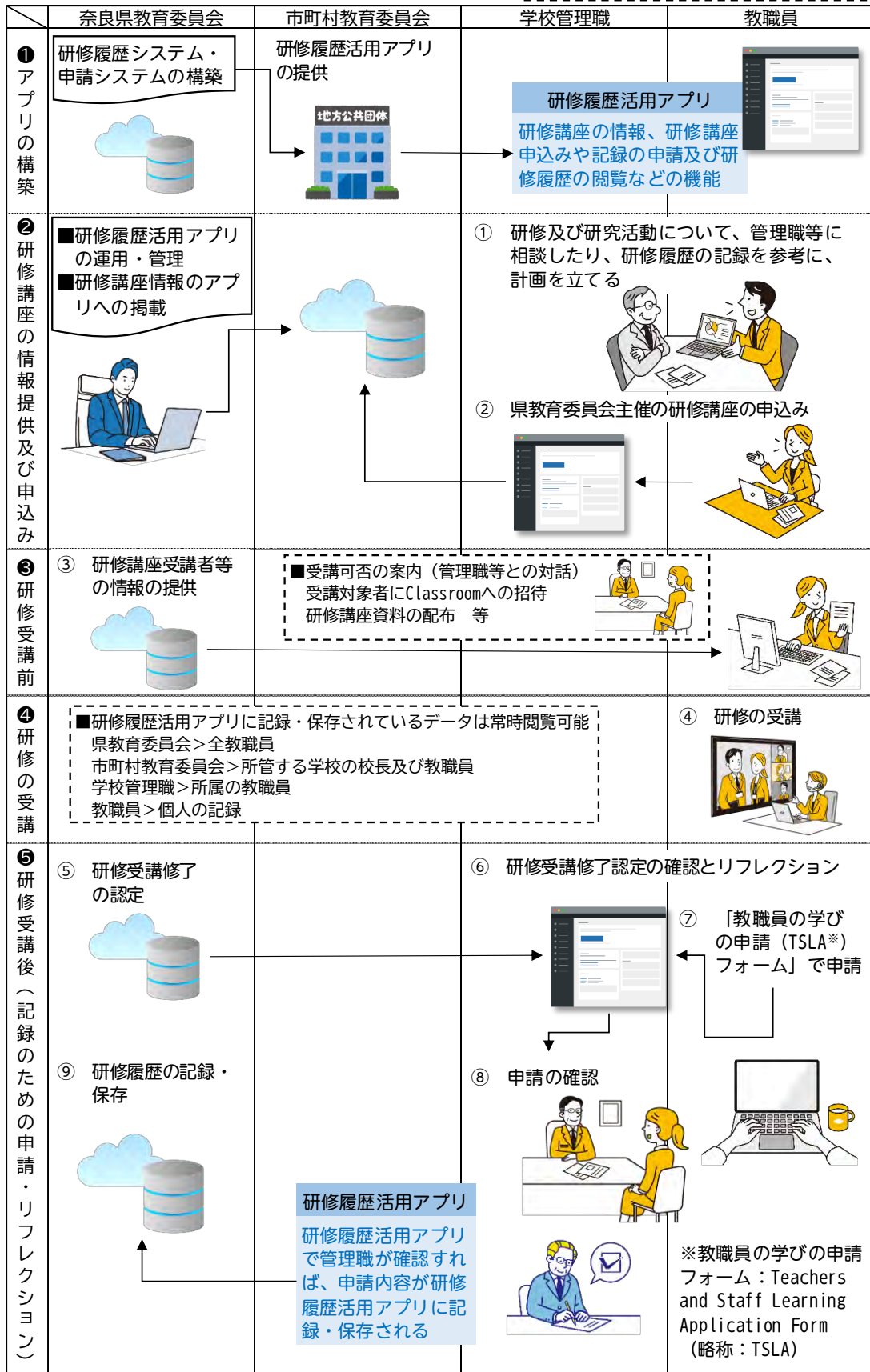
専門職には当然として専門性 (specialty) があります。逆に言うと、専門性のない専門職はあり得ないのです。つまり、専門職人である教師の専門性の如何によって、教職の質が決まってくると言えます。この教師の専門性を向上・深化させていくためには、研修が必要不可欠ではないでしょうか。

(参考) 文部科学省ホームページ 9 教員の地位に関する勧告 (抄) 1966 年 9 月 21 日～10 月 5 日  
ユネスコ特別政府間会議採択

[https://www.mext.go.jp/b\\_menu/shingi/chukyo/chukyo8/gijiroku/020901hi.htm](https://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chukyo/chukyo8/gijiroku/020901hi.htm)

キ 研修履歴の記録の流れ

研修履歴活用アプリでの申請及び閲覧には「いいネットなら」アカウントが必要



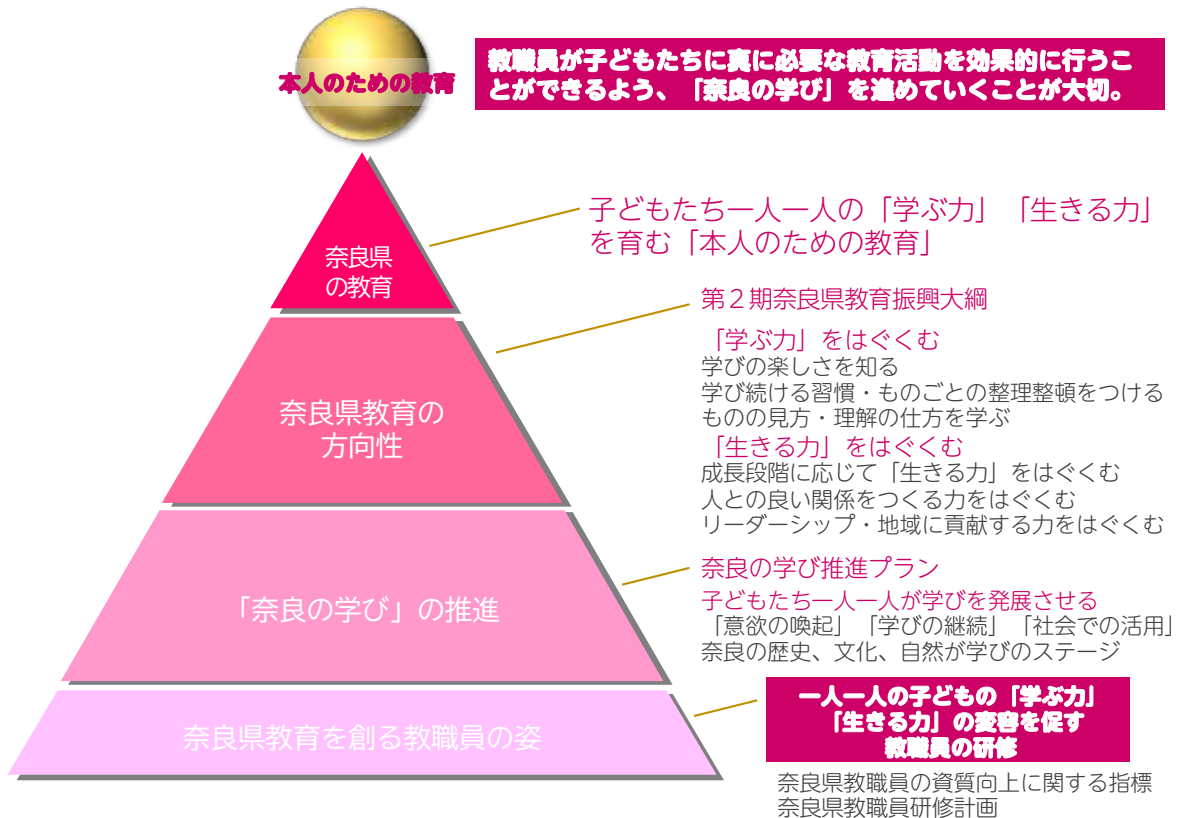
### 3 奈良県教職員研修の実施方針

#### (1) 教職員研修の基本方針

奈良県では、「第2期奈良県教育振興大綱」において、子どもたち一人一人の「学ぶ力」と「生きる力」を育む「本人のための教育」を行うことを、本県教育が目指す方向性としています。これを踏まえ、県教育委員会では、本県ならではの「奈良の学び」を掲げた「奈良の学び推進プラン」を策定しています。

「奈良の学び」は、子どもたち一人一人が学びを発展させることを重視しています。子どもたちの学習意欲を喚起し、その意欲のもと自ら学習を継続する態度を身に付け、そして、学習で得られた資質・能力を社会の中で発揮しようとする一連のプロセス、すなわち「意欲の喚起」「学びの継続」「社会での活用」というフローを実現することで、学びをより高めることを目指しています。また、奈良県は、三つの世界遺産を有する歴史、文化、自然に恵まれた地です。奈良でしかできない学びとして、この歴史、文化、自然を学びのステージとして活用することで、より子どもたちの学びを深めていきたいと考えています。

この「奈良の学び」の実現に向けて取り組んでいけるよう、本県教職員には「専門的力量」、「人間的な魅力・人間性」、「学び続ける意欲」の三つの資質向上を図るための教職員研修を実施します。また、指標に基づき、キャリアステージごとに示された資質・能力の育成を図る効果的・効率的な研修を計画・実施していきます。



## (2) 「奈良の学び」の実現に向けた具体的な方策

### ア 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善

- ・学習指導要領に示されている「主体的・対話的で深い学び」の実現のため、「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実に向けた研修等を計画し、教職員の資質向上を図ります。
- ・「個別最適な学び」及び「協働的な学び」の一体的な充実に向けた、教職員のICT活用指導力を高めるとともに、学習の基盤となる資質・能力である児童生徒の情報活用能力を育成するための内容を取り入れた研修を行っていきます。
- ・「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた調査研究を行います。また、研究成果としての授業実践等の好事例を広く周知し、県内の教職員による「主体的・対話的で深い学び」に向けた授業実践が実現できるよう、普及させる取組を実施していきます。

### イ 専門性や個性の伸長を図るための研修体系の整備

- ・令和4年8月に策定された「公立の小学校等の校長及び教員としての資質の向上に関する指標の策定に関する指針」において示された、「令和の日本型学校教育」を担う教師に求められる資質・能力」を基に本県教職員に求められる資質・能力を再整理し、指標を改定します。
- ・令和4年答申で示された教職生活を通じた「新たな学びの姿」の実現に向け、教職員と学校管理職等との積極的な対話を踏まえた学びの機会の提供と、教職員自らが主体的に行う学びとが相まって、変化を前向きに受け止め、探究心を持ちつつ自律的に学び続ける次世代型教職員研修システムを構築します。
- ・学校教育全体に係る内容や奈良県教育の課題等に関する内容の研修講座について、奈良県教職員の資質向上に関する指標を踏まえ、キャリアステージに応じた体系的かつ効果的に実施するための計画を策定し、学び続ける教職員を支援します。

### ウ 研修講座の内容の充実

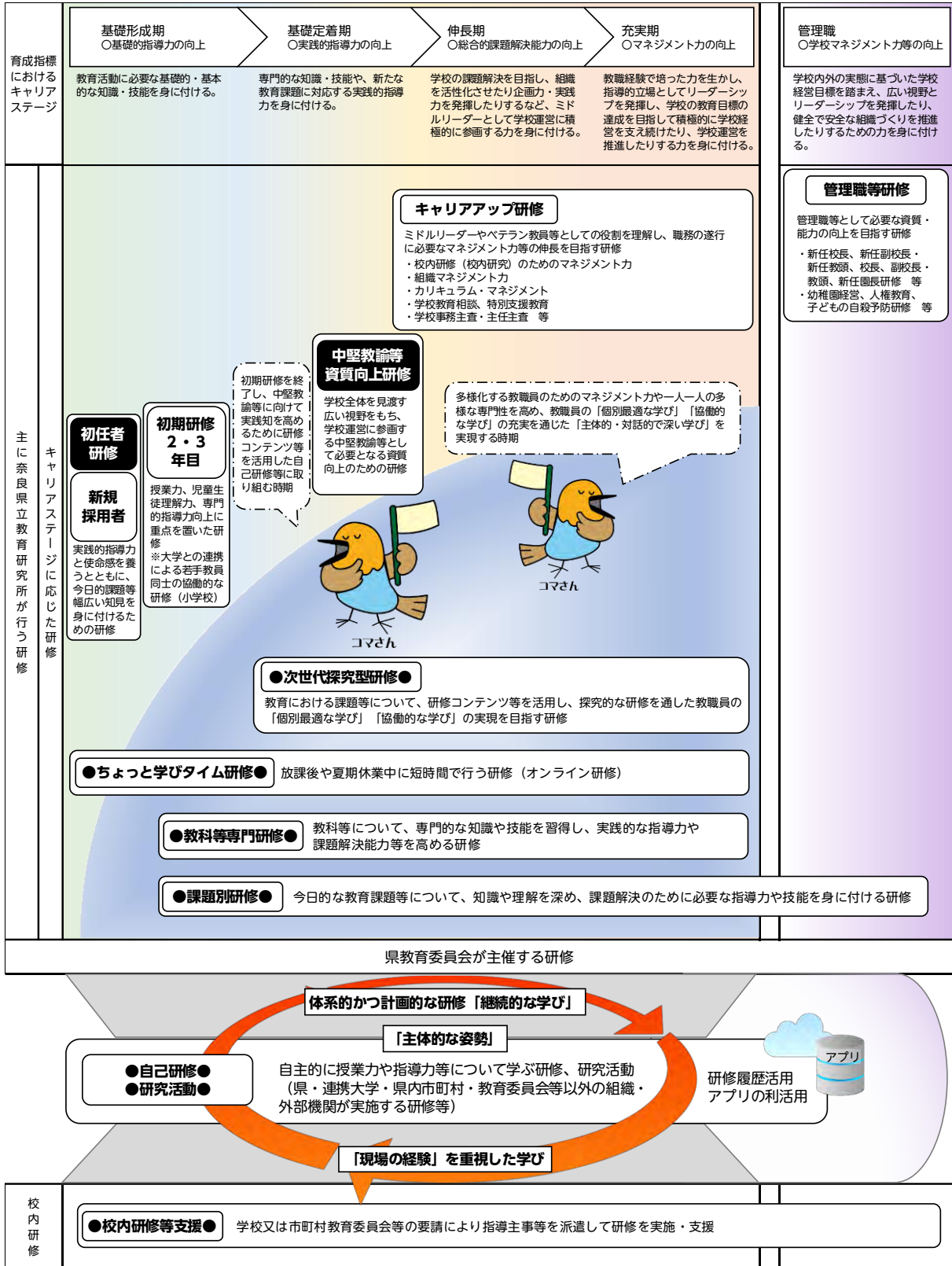
- ・令和3年審議まとめでは、研修は各教師にとって「有意義なものとなるような質を備えていなければならない」と示されていることから、教職員の研修について、明確な目的・目標を設定します。
- ・教職員が新たな領域の専門性を身に付けるなど、強みを伸ばすための学びは、一人一人の教職員の個性に即した、個別最適な学びが必要となります。一方、個別最適な学びとの往還も意識しながら、他者との対話や振り返りなどの機会を確保するなど、「協働的な教師の学び」も必要です。そのため、オンライン等の手法であっても、小グループを形成して、互いに学び合う機会を設定する等の方法で協働的な学びを実現するなど、様々な機会を捉えて多様な形の研修を計画していきます。
- ・研修における学習コンテンツは理論的なものと実践的なもの、いわゆる「一斉学習」と「自律的学習」がバランスよく含まれるとともに、ハウツーを伝えるものに留まらない、本質を捉えるような気付きを提供するコンテンツを検討します。また、学びの成果の可視化も含めたデジタル技術を積極的に活用していきます。さらに、反転学習や実践的なワークショップといった多様な方法を取り入れるなど、時代の変化に対応できるよう、継続的に刷新していきます。

### エ ICTを活用した研修講座の実施

- ・教職員の負担軽減を踏まえ、スモールステップの原理等、プログラム学習の要素を取り入れたスタイル（知識のインプットと実践をセットで繰り返すといったスタイルを想定。）をはじめ、教職員が負担なく選択し、受講できるようオンライン等の手法を活用した研修を実施していきます。
- ・児童生徒の学習の基盤となる資質・能力の一つである情報活用能力の育成を図るとともに、データリテラシーの向上を目的とした研修講座を計画します。
- ・一人一人の教職員が安心して学びに打ち込める環境の構築のため、学びの成果の可視化も含めたデジタル技術を積極的に活用していきます。

(3) 研修体系

ア 令和6年度 奈良県教職員研修グランドデザイン





## イ 主に奈良県立教育研究所が行う研修講座編成の基本方針

本県教職員の研修は、奈良県教諭の資質向上に関する指標等及び本教職員研修計画に基づき、これまで教職員として不易とされてきた資質・能力（教育者としての使命感、人間の成長・発達についての深い理解、幼児・児童・生徒に対する教育的愛情、教科等に関する専門的知識、広く豊かな教養、これらを基盤とした実践的指導力等）に加えて、時代の変化に対応して求められる新しい知識・技能を学び続けられるよう、キャリアステージに応じ体系的に計画します。

- ・本教職員研修計画にある「奈良の学び」が実現できるよう、本県教職員には「専門的力量」「人間的な魅力・人間性」「学び続ける意欲」の三つの資質向上を図るための研修を実施。
- ・研修講座全体において、「新たな教師の学びの姿」として、「主体的な姿」「継続的な学び」「個別最適な学び」「協働的な学び」の実現を支援するため、キャリアステージごとに示されている資質・能力の育成を図る効果的・効率的な研修を計画し、実施。
- ・初任者研修・新規採用者研修・初期研修においては、多様化する子どもを理解し指導するための基礎的・基本的な知識・技能の習得と愛情をもって信頼関係を構築できる教職員を育成するために計画し、実施。
- ・中堅教諭等資質向上研修においては、学校全体を見渡す広い視野をもち、学校運営に参画する中堅教諭等として必要な資質を高めるために計画し、実施。
- ・上記以外の研修においては、指標及び本教職員研修計画等に基づき、キャリアステージに応じて必要な資質・能力を育成するために計画し、実施。

## ウ 校種別研修講座一覧

### ■研修講座一覧表(小学校・義務教育学校(前期含む))

○ 研修の表記については、**対面・集合型** **対面・集合型/オンライン** **オンライン(同時双方向型)** **オンライン(オンデマンド型)** を示しています。

○ 旅費の欄に\*印の付いている研修講座は教育研究所で旅費を負担します。

○ 対象校種は、小中一貫教育や異校種連携等の視点から受講を認めている講座がありますので、各研修講座のシラバスで確認してください。

○ キャリアステージはあくまでも目安であり、自分の経験年数や立場を考慮し、自己の課題に応じて受講することができます。

○ 育成指標の表記について

●素養…教職に必要な素養 ●学習指導 ●生徒指導 ●児童生徒への配慮…特別な配慮や支援を必要とする児童生徒への対応 ●ICT等の利活用…ICTや情報・教育データの利活用

育成指標 ◎主たる関連	キャリアステージ				講座番号	対象	旅費
	基礎形成期 基礎的指導力の向上	基礎定着期 実践的指導力の向上	伸長期 総合的課題解決能力の向上	充実期 マネジメント力の向上			
◎ ◎ ◎ ◎ ◎	初任者研修 小学校					対象者	*
◎ ◎ ◎ ◎ ◎	初期研修(2年目)小学校					対象者	*
◎ ◎ ◎ ◎ ◎	初期研修(3年目)小学校					対象者	*
◎ ◎ ◎ ◎	新規任用臨時講師研修					対象者	
◎			中堅教諭等資質向上研修			対象者	
◎	絵本のひみつ研修講座					教職員	
◎	男女共同参画社会の実現に向けて研修講座					教職員	
◎	キャリアアップ(教務)研修講座					教員	
◎	キャリアアップ(校内研修)研修講座					教員	
◎	キャリアアップ(キャリア教育)研修講座					教員	
◎	防災教育研修講座					教職員	
◎	メンタリング力育成研修講座					教職員	
◎	生活科(幼小接続)研修講座					教員	
◎	ちょっと学びタイム研修講座(小学校)					教員	
◎	授業に生かす!全国学力・学習状況調査問題を活用した指導力向上研修講座					教員	
◎	森林環境教育 森とふれあい、森を知ろう					教職員	*
◎	生活科(授業づくり)研修講座					教員	
◎	小学校社会科(授業づくり)研修講座					教員	
◎	小学校理科(授業づくり)研修講座					教員	
◎	図画工作科における造形遊び研修講座					教員	
◎	小学校外国語活動・外国語科(授業づくり)					教員	
◎	小学校特別活動「実践に学ぶ!学級活動」研修講座					教員	
◎	小学校体育科授業づくり研修講座					教員	
◎	いのちの教育プログラム研修講座					教職員	
◎	司法制度から学ぶ法教育研修講座					教員	
◎	小学校国語科(授業づくり)研修講座					教員	
◎	小学校算数科・中学校数学科(授業づくり)研修講座					教員	
◎	豊かな心を育む道徳教育研修講座					教員	
◎	自立した消費者を育成する消費者教育					教職員	
◎	アントレプレナーシップ教育入門研修講座					教員	
◎	教科横断的な探究的な学び研修講座					教員	
◎	森林環境教育「自然素材を楽しむ、自然を考える」研修講座					教職員	*
◎	小学校理科推進リーダー研修講座					教員	
◎	探究的な学びを考える研修講座					教員	
◎	事例から学ぶ子供の虐待防止に関する研修講座					教職員	

育成指標 ◎主たる関連					キャリアステージ				講座 番号	対 象	旅 費
素 養	学 習 指 導	生 徒 指 導	児 童 生 活 へ の 対 応	I C T 特 長	基礎形成期 基礎的指導力の向上	基礎定着期 実践的指導力の向上	伸長期 総合的課題解決能力の向上	充実期 マネジメント力の向上			
		◎				学校教育相談ベーシック研修講座					教員
		◎				子どもの心のケア(不登校)研修講座					教職員
		◎				いじめ等問題行動等及び不登校の見立てと支援に関する研修講座					教員
		◎					子どもの心のケア(思春期)研修講座				教職員
		◎					子どもの心のケア(精神医学)研修講座				教職員
		◎					キャリアアップ(生徒指導)研修講座				教員
		◎					学校教育相談アドバンス研修講座				教員
		◎					学校教育相談コーディネーター スキルアップ研修講座				対象者
求 め ら れ る 資 質 や 能 力		◎				通級による指導担当者育成研修講座					教職員
			◎			ちよっと学びタイム(通級による指導)研修講座					教員
			◎			ちよっと学びタイム(特別支援学級)研修講座					教員
			◎			ちよっと学びタイム(特別支援教育コーディネーター)研修講座					教員
			◎			障害のある子どもの授業の在り方研修講座					教員
			◎			特別支援学級担任サポート研修講座					教員
			◎			子どものSOSに気づく、 応えるための研修講座					教職員
			◎				インクルーシブ教育システム推進研修講座				教員
			◎				特別の教育課程編成研修講座				教員
			◎				アセスメントを生かした指導・支援の在り方研修講座1				教職員
			◎				アセスメントを生かした指導・支援の在り方研修講座2				教職員
			◎			ちよっと学びタイム(ICT活用)研修講座					教員
			◎				クラウドベース県域公用アカウント活用講座				教職員

### ■研修講座一覧表(中学校・義務教育学校(後期含む))

- 研修の表記については、**対面・集合型** **対面・集合型/オンライン** **オンライン(同時双方向型)** **オンライン(オンデマンド型)** を示しています。
- 旅費の欄に\*印の付いている研修講座は教育研究所で旅費を負担します。
- 対象校種は、小中一貫教育や異校種連携等の視点から受講を認めている講座がありますので、各研修講座のシラバスで確認してください。
- キャリアステージはあくまでも目安であり、自分の経験年数や立場を考慮し、自己の課題に応じて受講することができます。
- 育成指標の表記について
  - 素養・・・教職に必要な素養
  - 学習指導
  - 生徒指導
  - 児童生徒への配慮・・・特別な配慮や支援を必要とする児童生徒への対応
  - ICT等の利活用・・・ICTや情報・教育データの利活用

育成指標 ◎主たる関連	キャリアステージ				講座 番号	対象	旅 費
	基礎形成期	基礎定着期	伸長期	充実期			
	基礎的指導力の向上	実践的指導力の向上	総合的課題解決能力の向上	マネジメント力の向上			
◎	◎	◎	◎	◎	初任者研修 中学校	対象者	*
◎	◎	◎	◎	◎	初期研修(2年目)中学校	対象者	*
◎	◎	◎	◎	◎	初期研修(3年目)中学校	対象者	*
◎	◎	◎	◎	◎	新規任用臨時講師研修	対象者	
◎				◎	中堅教諭等資質向上研修	対象者	
◎				◎	絵本のひみつ研修講座	教職員	
◎				◎	男女共同参画社会の実現に向けて研修講座	教職員	
◎				◎	キャリアアップ(教務)研修講座	教員	
◎				◎	キャリアアップ(校内研修)研修講座	教員	
◎				◎	キャリアアップ(キャリア教育)研修講座	教員	
◎				◎	防災教育研修講座	教職員	
◎				◎	メンタリング力育成研修講座	教職員	
◎				◎	授業に生かす!全国学力・学習状況調査問題を活用した指導力向上研修講座	教員	
◎				◎	森林環境教育 森とふれあい、森を知ろう	教職員	*
◎				◎	小学校社会科(授業づくり)研修講座	教員	
◎				◎	図画工作科における造形遊び研修講座	教員	
◎				◎	小学校体育科授業づくり研修講座	教員	
◎				◎	司法制度から学ぶ法教育研修講座	教員	
◎				◎	中学校・高等学校国語科(授業づくり)研修講座	教員	
◎				◎	小学校算数科・中学校数学科(授業づくり)研修講座	教員	
◎				◎	豊かな心を育む道徳教育研修講座	教員	
◎				◎	自立した消費者を育成する消費者教育	教職員	
◎				◎	アントレプレナーシップ教育入門研修講座	教員	
◎				◎	教科横断的な探究的な学び研修講座	教員	
◎				◎	森林環境教育「自然素材を楽しむ、自然を考える」研修講座	教職員	*
◎				◎	探究的な学びを考える研修講座	教員	
◎				◎	事例から学ぶ子供の虐待防止に関する研修講座	教職員	
◎				◎	学校教育相談ベーシック研修講座	教員	
◎				◎	子どもの心のケア(不登校)研修講座	教職員	
◎				◎	いじめ等問題行動等及び不登校の見立てと支援に関する研修講座	教員	
◎				◎	子どもの自殺予防(中・高・特)研修講座	教職員	
◎				◎	子どもの心のケア(思春期)研修講座	教職員	
◎				◎	子どもの心のケア(精神医学)研修講座	教職員	
◎				◎	キャリアアップ(生徒指導)研修講座	教員	
◎				◎	学校教育相談アドバンス研修講座	教員	

求められる資質や能力

育成指標 ◎主たる関連				キャリアステージ				講座 番号	対 象	旅 費
素 養	学 習 指 導	生 徒 指 導	見 学 対 応 の 特 長	基 礎 形 成 期  基礎的指導力の向上	基 礎 定 着 期  実践的指導力の向上	伸 長 期  総合的課題解決能力の向上	充 実 期  マネジメント力の向上			
求 め ら れ る 資 質 や 能 力		◎					学校教育相談コーディネーター スキルアップ研修講座		対象者	
			◎				通級による指導担当者育成研修講座		教職員	
			◎				ちょっと学びタイム(通級による指導)研修講座		教員	
			◎				ちょっと学びタイム(特別支援学級)研修講座		教員	
			◎				ちょっと学びタイム(特別支援教育コーディネーター)研修講座		教員	
			◎				障害のある子どもの授業の在り方研修講座		教員	
			◎				特別支援学級担任サポート研修講座		教員	
			◎				子どものSOSに気づく、 応えるための研修講座		教職員	
			◎				インクルーシブ教育システム推進研修講座		教員	
			◎				特別の教育課程編成研修講座		教員	
			◎				アセスメントを生かした指導・支援の在り方研修講座1		教職員	
			◎				アセスメントを生かした指導・支援の在り方研修講座2		教職員	
			◎				ちょっと学びタイム(ICT活用)研修講座		教員	
			◎				クラウドベース県域公用アカウント活用講座		教職員	

## ■ 研修講座一覧表（高等学校）

- 研修の表記については、対面・集合型 対面・集合型/オンライン オンライン（同時双方向型） オンライン（オンデマンド型） を示しています。
- 旅費の欄に＊印の付いている研修講座は教育研究所で旅費を負担します。
- 対象校種は、小中一貫教育や異校種連携等の視点から受講を認めている講座がありますので、各研修講座のシラバスで確認してください。
- キャリアステージはあくまでも目安であり、自分の経験年数や立場を考慮し、自己の課題に応じて受講することができます。
- 育成指標の表記について
- 素養…教職に必要な素養 ●学習指導 ●生徒指導 ●児童生徒への配慮…特別な配慮や支援を必要とする児童生徒への対応 ●ICT等の利活用…ICTや情報・教育データの利活用

育成指標 ◎主たる関連	キャリアステージ				講座 番号	対象	旅費
	基礎形成期 基礎的指導力の向上	基礎定着期 実践的指導力の向上	伸長期 総合的課題解決能力の向上	充実期 マネジメント力の向上			
	素養	学習指導	生徒指導	ICT利活用等の 児童生徒への			
◎	◎	◎	◎	◎	初任者研修 高等学校	対象者	*
◎	◎	◎	◎	◎	新規採用研修 実習助手	対象者	*
◎	◎	◎	◎	◎	初期研修(2年目)高等学校	対象者	*
◎	◎	◎	◎	◎	初期研修(3年目)高等学校	対象者	*
◎	◎	◎	◎	◎	新規任用臨時講師研修	対象者	*
◎				◎	中堅教諭等資質 向上研修	対象者	*
◎				◎	キャリア教育研修講座	教員	
◎				◎	絵本のひみつ研修講座	教職員	
◎				◎	生産性を高めるマネジメント	教職員	
◎				◎	男女共同参画社会の実現に向けて研修講座	教職員	
◎				◎	キャリアアップ(教務)研修講座	教員	
◎				◎	キャリアアップ(校内研修)研修講座	教員	
◎				◎	キャリアアップ(キャリア教育)研修講座	教員	
◎				◎	防災教育研修講座	教職員	
◎				◎	メンタリング力育成研修講座	教職員	
◎				◎	森林環境教育 森とふれあい、森を知らう	教職員	*
◎				◎	司法制度から学ぶ法教育研修講座	教員	
◎				◎	中学校・高等学校国語科(授業づくり)研修講座	教員	
◎				◎	自立した消費者を育成する消費者教育	教職員	
◎				◎	アントレプレナーシップ教育入門研修講座	教員	
◎				◎	教科横断的な探究的な学び研修講座	教員	
◎				◎	森林環境教育「自然素材を楽しむ、自然を考える」研修講座	教職員	*
◎				◎	探究的な学びを考える研修講座	教員	
◎				◎	事例から学ぶ子供の虐待防止に関する研修講座	教職員	
◎				◎	学校教育相談ベーシック研修講座	教員	
◎				◎	子どもの心のケア(不登校)研修講座	教職員	
◎				◎	いじめ等問題行動等及び不登校の見立てと支援に関する研修講座	教員	
◎				◎	子どもの自殺予防(中・高・特)研修講座	教職員	
◎				◎	子どもの心のケア(思春期)研修講座	教職員	
◎				◎	子どもの心のケア(精神医学)研修講座	教職員	
◎				◎	キャリアアップ(生徒指導)研修講座	教員	
◎				◎	学校教育相談アドバンス研修講座	教員	
◎				◎	学校教育相談コーディネーター スキルアップ研修講座	対象者	
◎				◎	通級による指導担当者育成研修講座	教職員	
◎				◎	ちょっと学びタイム(通級による指導)研修講座	教員	

育成指標 ◎主たる関連				キャリアステージ				講座 番号	対 象	旅 費	
素 養	学 習 指 導	生 徒 指 導	現 業 生 徒 へ の 対 応	ICT 等 の 活 用	基礎形成期 基礎的指導力の向上	基礎定着期 実践的指導力の向上	伸長期 総合的課題解決能力の向上				充実期 マネジメント力の向上
求 め ら れ る 資 質 や 能 力			◎		ちよっと学びタイム(特別支援教育コーディネーター)研修講座					教員	
			◎			子どものSOSに気づく、 応えるための研修講座					教職員
			◎					アセスメントを生かした指導・支援の在り方研修講座1			教職員
			◎					アセスメントを生かした指導・支援の在り方研修講座2			教職員
			◎					インクルーシブ教育システム推進研修講座			教員
			◎			ちよっと学びタイム(ICT活用)研修講座					教員
			◎			クラウドベース県域公用アカウント活用講座					教職員

## ■ 研修講座一覧表 (特別支援学校)

- 研修の表記については、対面・集成型 対面・集成型/オンライン オンライン (同時双方向型) オンライン (オンデマンド型) を示しています。
- 旅費の欄に＊印の付いている研修講座は教育研究所で旅費を負担します。
- 対象校種は、小中一貫教育や異校種連携等の視点から受講を認めている講座がありますので、各研修講座のシラバスで確認してください。
- キャリアステージはあくまでも目安であり、自分の経験年数や立場を考慮し、自己の課題に応じて受講することができます。
- 育成指標の表記について  
 ● 素養・・・教職に必要な素養 ● 学習指導 ● 生徒指導 ● 児童生徒への配慮・・・特別な配慮や支援を必要とする児童生徒への対応 ● ICT等の利活用・・・ICTや情報・教育データの利活用

育成指標 ◎主たる関連					キャリアステージ				講座 番号	対 象	旅 費
素 養	学 習 指 導	生 徒 指 導	児 童 生 徒 へ の 配 慮	I C T 等 の 利 活 用	基礎形成期 基礎的指導力の向上	基礎定着期 実践的指導力の向上	伸長期 総合的課題解決能力の向上	充実期 マネジメント力の向上			
○	○	○	○	○	初任者研修 特別支援学校					対象者	*
○	○	○	○	○	新規採用研修 実習助手					対象者	*
○	○	○	○	○	初期研修(2年目)特別支援学校					対象者	*
○	○	○	○	○	初期研修(3年目)特別支援学校					対象者	*
○	○	○	○	○	新規任用臨時講師研修					対象者	*
○					中級教諭等資質 向上研修					対象者	*
○					キャリアアップ(教務)研修講座					教員	
○					キャリアアップ(校内研修)研修講座					教員	
○					キャリアアップ(キャリア教育)研修講座					教員	
○					防災教育研修講座					教職員	
○					メンタリング力育成研修講座					教職員	
○					生活科(幼小接続)研修講座					教員	
○					男女共同参画社会の実現に向けて研修講座					教職員	
○					絵本のひみつ研修講座					教職員	
○					授業に生かす!全国学力・学習状況調査問題を活用した指導力向上研修講座					教員	
○					森林環境教育 森とふれあい、森を知らう					教職員	*
○					小学校社会科(授業づくり)研修講座					教員	
○					小学校理科(授業づくり)研修講座					教員	
○					図画工作科における造形遊び研修講座					教員	
○					小学校外国語活動・外国語科(授業づくり)					教員	
○					小学校特別活動「実践に学ぶ!学級活動」研修講座					教員	
○					小学校体育科授業づくり研修講座					教員	
○					いのちの教育プログラム研修講座					教職員	
○					司法制度から学ぶ法教育研修講座					教員	
○					小学校国語科(授業づくり)研修講座					教員	
○					中学校・高等学校国語科(授業づくり)研修講座					教員	
○					小学校算数科・中学校数学科(授業づくり)研修講座					教員	
○					豊かな心を育む道徳教育研修講座					教員	
○					自立した消費者を育成する消費者教育					教職員	
○					アントレプレナーシップ教育入門研修講座					教員	
○					教科横断的な探究的な学び研修講座					教員	
○					森林環境教育「自然素材を楽しむ、自然を考える」研修講座					教職員	*
○					探究的な学びを考える研修講座					教員	
○					事例から学ぶ子供の虐待防止に関する研修講座					教職員	



育成指標 ◎主たる関連				キャリアステージ				講座 番号	対 象	旅 費
素 養	学 習 指 導	生 徒 指 導	現 場 活 用 等 の 対 応	基 礎 形 成 期  基礎的指導力の向上	基 礎 定 着 期  実践的指導力の向上	伸 長 期  総合的課題解決能力の向上	充 実 期  マネジメント力の向上			
		◎			学校教育相談ベーシック研修講座				教員	
		◎			子どもの心のケア(不登校)研修講座				教職員	
		◎			いじめ等問題行動等及び不登校の見立てと支援に関する研修講座				教員	
		◎			子どもの自殺予防(中・高・特)研修講座				教職員	
		◎				子どもの心のケア(思春期)研修講座			教職員	
		◎				子どもの心のケア(精神医学)研修講座			教職員	
		◎				キャリアアップ(生徒指導)研修講座			教員	
		◎				学校教育相談アドバンス研修講座			教員	
		◎				学校教育相談コーディネーター スキルアップ研修講座			対象者	
		◎			通級による指導担当者育成研修講座				教職員	
		◎			ちょっと学びタイム(特別支援教育コーディネーター)研修講座				教員	
		◎			障害のある子どもの授業の在り方研修講座				教員	
		◎			子どものSOSに気づく、 応えるための研修講座				教職員	
		◎				インクルーシブ教育システム推進研修講座			教員	
		◎				特別の教育課程編成研修講座			教員	
		◎				アセスメントを生かした指導・支援の在り方研修講座1			教職員	
		◎				アセスメントを生かした指導・支援の在り方研修講座2			教職員	
		◎			ちょっと学びタイム(ICT活用)研修講座				教員	
		◎				クラウドベース県域公用アカウント活用講座			教職員	

求められる資質や能力

### ■研修講座一覧表(養護教諭)

- 研修の表記については、**対面・集合型** **対面・集合型/オンライン** **オンライン(同時双方向型)** **オンライン(オンデマンド型)** を示しています。
- 旅費の欄に\*印の付いている研修講座は教育研究所で旅費を負担します。
- 対象校種は、小中一貫教育や異校種連携等の視点から受講を認めている講座がありますので、各研修講座のシラバスで確認してください。
- キャリアステージはあくまでも目安であり、自分の経験年数や立場を考慮し、自己の課題に応じて受講することができます。
- 育成指標の表記について
  - 素養…教職に必要な素養 ● 専門領域…専門領域における指導 ● 生徒指導
  - 児童生徒への配慮…特別な配慮や支援を必要とする児童生徒への対応 ● ICT等の利活用…ICTや情報・教育データの利活用

育成指標 ◎主たる関連	キャリアステージ				講座番号	対象	旅費
	基礎形成期 基礎的指導力の向上	基礎定着期 実践的指導力の向上	伸長期 総合的課題解決能力の向上	充実期 マネジメント力の向上			
◎ ◎ ◎ ◎ ◎	新規採用養護教諭研修					対象者	*
◎ ◎ ◎ ◎ ◎	初期研修(2・3年目)養護教諭					対象者	*
◎ ◎ ◎ ◎	新規任用臨時講師研修					対象者	
◎ ◎		養護教諭中堅研修 専門研修<プログラム1>			対象者	*	
◎ ◎		養護教諭中堅研修 専門研修<プログラム2>			対象者	*	
◎ ◎		養護教諭中堅研修 専門研修<プログラム3>			対象者	*	
◎	森林環境教育 森とふれあい、森を知ろう				教職員	*	
◎	絵本のひみつ研修講座				教職員		
◎	生産性を高めるマネジメント				教職員		
◎	男女共同参画社会の実現に向けて研修講座				教職員		
◎	森林環境教育「自然素材を楽しむ、自然を考える」研修講座				教職員	*	
◎	防災教育研修講座				教職員		
◎	メンタリング力育成研修講座				教職員		
◎	いのちの教育プログラム研修講座				教職員		
◎	養護教諭スキルアップ研修講座				対象者		
◎	自立した消費者を育成する消費者教育				教職員		
◎	事例から学ぶ子供の虐待防止に関する研修講座				教職員		
◎	子どもの心のケア(不登校)研修講座				教職員		
◎	いじめ等問題行動等及び不登校の見立てと支援に関する研修講座				教員		
◎	子どもの自殺予防(中・高・特)研修講座				教職員		
◎	学校教育相談アドバンス研修講座				教員		
◎	学校教育相談コーディネーター スキルアップ研修講座				対象者		
◎	子どもの心のケア(思春期)研修講座				教職員		
◎	子どもの心のケア(精神医学)研修講座				教職員		
◎	子どものSOSに気づく、 応えるための研修講座				教職員		
◎	インクルーシブ教育システム推進研修講座				教員		
◎	アセスメントを生かした指導・支援の在り方研修講座1				教職員		
◎	アセスメントを生かした指導・支援の在り方研修講座2				教職員		
◎	ちょっと学びタイム(ICT活用)研修講座				教員		
◎	クラウドベース県域公用アカウント活用講座				教職員		

求められる資質や能力

### ■研修講座一覧表(栄養教諭)

- 研修の表記については、**対面・集合型** **対面・集合型/オンライン** **オンライン(同時双方向型)** **オンライン(オンデマンド型)** を示しています。
- 旅費の欄に\*印の付いている研修講座は教育研究所で旅費を負担します。
- 対象校種は、小中一貫教育や異校種連携等の視点から受講を認めている講座がありますので、**各研修講座のシラバス**で確認してください。
- キャリアステージはあくまでも目安であり、自分の経験年数や立場を考慮し、自己の課題に応じて受講することができます。
- 育成指標の表記について
  - 素養・・・教職に必要な素養
  - 専門領域・・・専門領域における指導
  - 生徒指導
  - 児童生徒への配慮・・・特別な配慮や支援を必要とする児童生徒への対応
  - ICT等の利活用・・・ICTや情報・教育データの利活用

育成指標 ◎主たる関連	キャリアステージ				講座番号	対象	旅費
	基礎形成期 基礎的指導力の向上	基礎定着期 実践的指導力の向上	伸長期 総合的課題解決能力の向上	充実期 マネジメント力の向上			
◎◎◎◎◎	新規採用栄養教諭研修					対象者	*
◎◎◎◎◎	初期研修(2・3年目)栄養教諭					対象者	*
◎◎◎◎◎	新規任用臨時講師研修					対象者	
◎◎		栄養教諭中堅研修 専門研修<プログラム1>			対象者	*	
◎◎		栄養教諭中堅研修 専門研修<プログラム2>			対象者	*	
◎◎		栄養教諭中堅研修 専門研修<プログラム3>			対象者	*	
◎	森林環境教育 森とふれあい、森を知ろう					教職員	*
◎	絵本のひみつ研修講座					教職員	
◎	男女共同参画社会の実現に向けて研修講座					教職員	
◎	森林環境教育「自然素材を楽しむ、自然を考える」研修講座					教職員	*
◎	防災教育研修講座					教職員	
◎	メンタリング力育成研修講座					教職員	
◎	いのちの教育プログラム研修講座					教職員	
◎	栄養教諭・学校栄養職員研修講座					対象者	
◎	自立した消費者を育成する消費者教育					教職員	
◎	事例から学ぶ子供の虐待防止に関する研修講座					教職員	
◎	子どもの心のケア(不登校)研修講座					教職員	
◎	いじめ等問題行動等及び不登校の見立てと支援に関する研修講座					教員	
◎	子どもの自殺予防(中・高・特)研修講座					教職員	
◎	子どもの心のケア(思春期)研修講座					教職員	
◎	子どもの心のケア(精神医学)研修講座					教職員	
◎	子どものSOSに気づく、 応えるための研修講座					教職員	
◎	アセスメントを生かした指導・支援の在り方研修講座1					教職員	
◎	アセスメントを生かした指導・支援の在り方研修講座2					教職員	
◎	ちょっと学びタイム(ICT活用)研修講座					教員	
◎	クラウドベース県域公用アカウント活用講座					教職員	

求められる資質や能力

### ■ 研修講座一覧表 (学校事務職員)

- 研修の表記については、**対面・集合型** **対面・集合型/オンライン** **オンライン (同時双方向型)** **オンライン (オンデマンド型)** を示しています。
- 旅費の欄に\*印の付いている研修講座は教育研究所で旅費を負担します。
- 対象校種は、小中一貫教育や異校種連携等の視点から受講を認めている講座がありますので、各研修講座のシラバスで確認してください。
- キャリアステージはあくまでも目安であり、自分の経験年数や立場を考慮し、自己の課題に応じて受講することができます。
- 育成指標の表記について
  - 素養・・・学校事務職員に必要な素養 ● 専門領域・・・専門領域における業務遂行 ● 生徒指導
  - 児童生徒への配慮・・・特別な配慮や支援を必要とする児童生徒への対応 ● ICT等の利活用・・・ICTや情報・教育データの利活用

育成指標 ◎主たる関連					キャリアステージ				講座 番号	対 象	旅 費	
素 養	専 門 領 域	生 徒 指 導	児 童 生 徒 へ の 配 慮	I C T 等 の 利 活 用	基礎形成期 (目安:主事) 基礎的指導力の向上	基礎定着期 (目安:経験4年以上の主事・主任主事) 実践的指導力の向上	伸長期 (目安:主査) 総合的課題解決能力の向上	充実期 (目安:主任主査)(事務リーダー) マネジメント力の向上				
◎	◎	◎	◎	◎		新規採用学校事務職員研修					対象者	*
◎	◎	◎	◎	◎		初期研修(2・3年目)学校事務職員					対象者	*
◎	◎							学校事務職員中堅研修 専門研修<プログラム1>			対象者	*
◎	◎							学校事務職員中堅研修 専門研修<プログラム2>			対象者	*
◎	◎							学校事務職員中堅研修 専門研修<プログラム3>			対象者	*
◎						森林環境教育 森とふれあい、森を知ろう					教職員	*
◎							学校事務スキルアップ研修講座				教職員	
◎							絵本のひみつ研修講座				教職員	
◎							男女共同参画社会の実現に向けて研修講座				教職員	
◎							森林環境教育「自然素材を楽しむ、自然を考える」研修講座				教職員	*
◎								学校事務(主査・主任主査)研修講座			対象者	
◎								防災教育研修講座			教職員	
◎								メンタリング力育成研修講座			教職員	
◎							ちょっと学びタイム(学校事務職員)研修講座				対象者	
◎							学校事務のグループワーキング・共同学校事務室研修講座				対象者	
◎							いのちの教育プログラム研修講座				教職員	
◎							自立した消費者を育成する消費者教育				教職員	
◎								共同学校事務室長研修講座			対象者	
	◎						事例から学ぶ子供の虐待防止に関する研修講座				教職員	
	◎						子どもの心のケア(不登校)研修講座				教職員	
	◎						子どもの自殺予防(中・高・特)研修講座				教職員	
	◎							子どもの心のケア(思春期)研修講座			教職員	
	◎							子どもの心のケア(精神医学)研修講座			教職員	
		◎					子どものSOSに気づく、 応えるための研修講座				教職員	
		◎						アセスメントを生かした指導・支援の在り方研修講座1			教職員	
		◎						アセスメントを生かした指導・支援の在り方研修講座2			教職員	
			◎					クラウドベース県域公用アカウント活用講座			教職員	

### ■研修講座一覧表(管理職)

- 研修の表記については、対面・集合型 対面・集合型/オンライン オンライン(同時双方向型) オンライン(オンデマンド型) を示しています。
- 旅費の欄に\*印の付いている研修講座は教育研究所で旅費を負担します。

育成指標 ◎主たる関連				【小学校・中学校・高等学校・特別支援学校】				講座 番号	対 象	旅 費		
求められる 資質や能力	基礎的 素養	マネジ メント 力	情報分 析活用 力	調整 力	キャリアステージ：管理職(充実期)							
					マネジメント力の向上							
		◎			新任校長研修講座				対象者			
		◎			校長研修講座				対象者			
		◎			子どもの自殺予防(小学校管理職)研修講座				対象者			
			◎		副校長・教頭研修				対象者			
				◎	新任副校長・教頭研修				対象者			
				◎	特別の教育課程編成研修講座				教育 管理職			
育成指標 ◎主たる関連				【幼稚園等】				講座 番号	対 象	旅 費		
教職に 必要な	保育 力	指導 力	幼児 への 対応	I C T 活 用 等 の	キャリアステージ：管理職(充実期)							
					マネジメント力の向上							
	◎				園長研修講座				対象者			
<small>※育成指標の表記について                      ・「幼児への対応」・・・「特別な配慮や支援を必要とする幼児への対応」                      ・「ICT等の利活用」・・・「ICTや情報・教育データの利活用」</small>												

### ■研修講座一覧表(幼稚園等)

- 研修の表記については、**対面・集合型** **対面・集合型/オンライン** **オンライン(同時双方向型)** **オンライン(オンデマンド型)** を示しています。
- 対象校種の「幼」は、幼保連携型認定こども園も参加が可能です。ただし、幼稚園等新規採用教員研修講座及び幼稚園中堅教諭等資質向上研修講座は除きます。
- 旅費の欄に\*印の付いている研修講座は教育研究所で旅費を負担します。
- キャリアステージはあくまでも目安であり、自分の経験年数や立場を考慮し、自己の課題に応じて受講することができます。
- 育成指標の表記について  
 ●素養…教職に必要な素養 ●保育力 ●指導力 ●幼児への対応…特別な配慮や支援を必要とする幼児への対応 ●ICT等の利活用…ICTや情報・教育データの利活用

育成指標 ◎またる関連	キャリアステージ				講座番号	対象	旅費
	基礎形成期	基礎定着期	伸長期	充実期			
◎	◎	◎	◎	◎	幼稚園等新規採用教員研修	対象者	
◎			◎	◎	幼稚園中堅研修 専門研修<プログラム1>	対象者	
◎			◎	◎	幼稚園中堅研修 専門研修<プログラム2>	対象者	
	◎			◎	幼稚園中堅研修 専門研修<プログラム3>	対象者	
◎				◎	絵本のひみつ研修講座	教職員	
◎				◎	男女共同参画社会の実現に向けて研修講座	教職員	
◎				◎	生活科(幼小接続)研修講座	教員	
	◎			◎	森林環境教育 森とふれあい、森を知ろう	教職員	*
	◎			◎	生活科(授業づくり)研修講座	教員	
				◎	いのちの教育プログラム研修講座	教職員	
				◎	森林環境教育「自然素材を楽しむ、自然を考える」研修講座	教職員	*
				◎	事例から学ぶ子供の虐待防止に関する研修講座	教職員	
				◎	ちょっと学びタイム(特別支援教育コーディネーター)研修講座	教員	
				◎	学校教育相談ベーシック研修講座	教員	
				◎	子どもの心のケア(不登校)研修講座	教職員	
				◎	子どものSOSに気づく、 応えるための研修講座	教職員	
				◎	いじめ等問題行動等及び不登校の見立てと支援に関する研修講座	教員	
				◎	子どもの心のケア(思春期)研修講座	教職員	
				◎	子どもの心のケア(精神医学)研修講座	教職員	
				◎	インクルーシブ教育システム推進研修講座	教員	
				◎	アセスメントを生かした指導・支援の在り方研修講座1	教職員	
				◎	アセスメントを生かした指導・支援の在り方研修講座2	教職員	
				◎	クラウドベース県域公用アカウント活用講座	教職員	

#### (4) 研修の評価

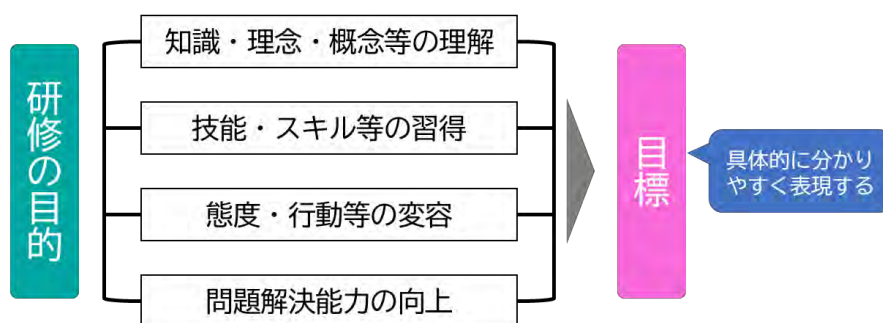
##### ア 研修の目的・目標の設定の視点

研修は、「研究」と「修養」の両面からなっており、「研究」は、教育的知見の獲得を目指す知的、論理的活動であり、「修養」は、人格を磨くこと、精神を鍛える活動です。

研修は、教職員一人一人が学習指導や学級経営等、様々な面においてスキルアップを図ると同時に、一人一人の子どもの望ましい変容を促すことをねらいとして教職員が行う活動であり、教職員の生命線です。したがって、教職員研修の目的は、教職員の変容であり、その先の子どもたちの成長・発達と言えます。

教職員研修の基本方針及び上記のことを踏まえて、県教育委員会が行う研修の目的を、「子どもの変容をもたらすか」、「一人一人の教職員が自己変革でき、教育実践の改善に生かされるか」という視点を基に、「知識・理念・概念等の理解」、「技能・スキル等の習得」、「態度・行動等の変容」、「問題解決能力の向上」の四つの観点に整理します。

また、研修の目標については、それぞれの研修講座において、研修後に受講者がどのようなことを目指すのかを「具体的な行動目標（～ができる等）」として明確化します。



##### イ 研修の評価の目的

研修の評価とは、評価基準が設定された目標に対して到達度を見るものです。実施される研修は業務に役立つものであり、研修の結果身に付いたことを受講者が学校等で生かせるものである必要があります。そのため、研修主催者は、研修の目的・目標が達成されたか、受講者にとって実際に役立つ研修であったか、また、今後実施する研修がよりよい研修となるためにはどのように研修を企画すればよいのか等を把握することが大切です。そこで、県教育委員会では次の三つを研修の評価の目的として設定します。

- ・学校の教育課題などのニーズを踏まえつつ、奈良県教育が目指す方向性と合致しているかを判断する。
- ・研修体系の課題を抽出し、改善を図る。
- ・研修講座の継続の是非を判断する。

##### ウ 研修の評価の方法

研修講座の適切な機会に、受講者に対してアンケートを実施します。アンケートは、受講者のニーズを把握するとともに、受講目的・所定の評価基準が設定された目標の到達度、研修内容の妥当性、実践に生かす意欲及び成果達成度について調査することとし、研修講座の評価とともに、受講者がリフレクションできるものとします。

##### エ 研修主催者による研修の評価

研修目的・目標の到達度については、研修時の観察や受講者のアンケートなどを基に研修主催者も評価します。

受講者によるアンケートの評価及び研修主催者の評価を基に、課題や改善点を抽出するとともに、

次年度の計画に生かします。その際、評価結果が所定の基準を満たさない研修については、研修の目的、研修スタイル、講師などの内容を大幅に見直す等の対象とします。

#### オ 奈良県立教育研究所の研修に関する事業の評価

これまで、奈良県立教育研究所では研修受講後に実施する受講者への振り返りアンケートを以て個々の研修講座の評価を行ってきました。しかしながら、この方法だけで受講者等のニーズを把握し、研修の効果を適切に検証できたとは言い切れず、より効果的な研修について考えていかなければいけません。

そこで、今後、研修を受講した教職員がそれぞれ学んだことをどのように実践に生かすことができているのか、またそれがどのように教職員の変容をもたらす効果があるのか等について把握する工夫をし、研修の効果を適切に検証するよう取り組んでいきます。



4 各職におけるキャリアステージに応じた研修計画

(1) 教諭

ア 基礎形成期

指標		校内研修	校外研修	
教職に必要な素養	主体的に学び続ける姿勢	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童生徒や教職員とのコミュニケーションを大切にするとともに、校内での研修・研究に関して自分の意見を伝える</li> <li>・校務分掌の部会等で、自分の担当する職務について、指導を受けながら校務に参画する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・必要な資質・能力の向上を目指して、主体的・意欲的に研修に取り組む</li> <li>・家庭や地域との連携や学校安全に関する基礎・基本を身に付ける</li> </ul>	
	コミュニケーション能力		<p>&lt;研修例&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・初任者研修講座</li> <li>・初期研修講座</li> <li>・N I T S 研修講座</li> </ul>	
	マネジメント	<ul style="list-style-type: none"> <li>・豊かな人間性や人権感覚を有し、多様な児童生徒を受容するとともに、良好な人間関係を構築する力を備えている</li> <li>・状況や目的に応じて、相手の思いを正しく受け止め、自分の思いを適切に伝える優れたコミュニケーション能力を備えている</li> <li>・愛情をもって児童生徒との信頼関係を築いている</li> </ul>		
	連携・協働	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校及び教職の意義を理解し、組織の一員として果たすべき役割を十分理解して職務を遂行することができる</li> </ul>		
	危機管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家庭や地域に対して、学級の経営方針等を説明し、理解と協力を得ることができる</li> <li>・家庭や地域の協力のもと教育活動を効果的に進めることができる</li> </ul>		
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校安全に関する基礎的な知識を有し、事象発生時には正しい手順で対応することができる</li> <li>・未然防止のための身の回りの安全点検を確実に行うことができる</li> </ul>		

		指標	校内研修	校外研修
学習指導	専門的知識 各教科等の	・各教科等の特質に応じ、資質・能力をはぐくむために必要となる専門的知識を身に付けている	・日常的に他の教員の授業を参観する ・各学年や教科担当等で研修・研究に関するテーマを相談したり、協議したりする	・基礎的指導力と使命感を養うとともに、幅広い知見を身に付ける ・専門的知識、授業力を身に付ける
	授業設計	・学習指導要領の内容やカリキュラム・マネジメントの考え方に基づいて授業を設計することができる	・主体的に研究授業等に取り組む ・学習指導要領に基づいて学習指導案を作成し、他の教員の指導・助言を受ける	<研修例> ・初任者研修講座 ・初期研修講座 ・教科等専門研修講座 ・ちょっと学びタイム研修講座 ・N I T S 研修講座
	授業実践	・主体的・対話的で深い学びの視点に立った授業実践を目指すとともに、基礎的な知識・技能の定着とそれらを活用する力を培う児童生徒中心の授業を実践することができる ・児童生徒の実態に応じた教材研究を行い、主体的に研究授業等に取り組むことができる		
	評価・改善	・児童生徒の反応や理解度等の学習状況から自己の授業を評価し、研究授業等の機会を通して、指導技術等の改善に取り組むことができる		
生徒指導	づくり 児童生徒理解に基づく集団	・児童生徒一人一人の言動や心の動きからその児童生徒の置かれている現状を理解し、児童生徒と積極的に向き合うことができる ・児童生徒一人一人が自己存在感を実感し、相互の多様性を認め合い安心できる学級づくりを行うことができる	・管理職や主任等による研修や指導・助言を受ける ・学年会議等で児童生徒の様子や学級経営等について相談したり、協議したりする	・生徒指導やキャリア教育、教育相談等の基礎・基本を身に付ける  <研修例> ・初任者研修講座 ・初期研修講座
	指導	・全ての児童生徒が自発的・主体的に成長や発達をしていく過程を支える視点を理解している ・深刻な課題を抱える特定の児童生徒に対して、他の教職員からの助言・支援を得ながら事象に対応することができる	・外部機関との連携の在り方について知る	・課題別研修講座 ・N I T S 研修講座

		指標	校内研修	校外研修
	教育相談	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童生徒の状況に応じて、教育相談等の必要性を判断したり、SC・SSWや関係機関等との円滑な連携を図ったりするために、児童生徒の実態等の現状について、他の教職員に確実に報告・連絡・相談することができる</li> <li>・教育相談に関わる基礎理論を理解し、様々な資質や能力の積極的な獲得を支援する教育相談を実践することができる</li> </ul>		
	キャリア教育	<ul style="list-style-type: none"> <li>・キャリア教育の意義を理解し、児童生徒の発達段階に応じて勤労観・職業観を育成し、新たな学習や生活への意欲につなげたり、将来の生き方を考えたりする活動を実践することができる</li> </ul>		
特別な配慮や支援を必要とする児童生徒への対応		<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童生徒が示すサインやつまずきの早期発見に努め、児童生徒の行動等の背景にある特性について理解するなど実態把握をすることができる</li> <li>・児童生徒の実態から一人一人の教育的ニーズに応じた個別の教育支援計画及び個別の指導計画の作成ができ、それらに基づいた適切な指導・支援をすることができる</li> <li>・児童生徒への適切な指導・支援を行うために、管理職や他の教職員に相談しながら、校内の支援体制を活用して組織的に対応することができる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日々の観察やチェックリスト等を活用して児童生徒の実態把握に取り組む方法を理解する</li> <li>・特別支援教育コーディネーターや指導教員等から助言を受け、個別の教育支援計画及び個別の指導計画等の作成や支援のための知識・理解を深める</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特別支援教育等に関する基礎的・基本的な知識を身に付ける</li> </ul> <p>&lt;研修例&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・初任者研修講座</li> <li>・初期研修講座</li> <li>・課題別研修講座</li> <li>・ちょっと学びタイム研修講座</li> <li>・NITS研修講座</li> </ul>
用 ICTや情報・教育データの活用	授業や校務への活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校におけるICT活用の意義を理解し、授業や校務等において、ICTを適切に活用することができる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・情報活用能力の育成やICTを活用した実践について、日常的に他の教員の授業を参観する</li> <li>・教育データの活用について、学年等で相談したり、協議したりする</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ICT活用指導力の基礎・基本を身に付ける</li> </ul> <p>&lt;研修例&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・初任者研修講座</li> <li>・初期研修講座</li> <li>・課題別研修講座</li> <li>・NITS研修講座</li> </ul>
	ICT活用指導力	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童生徒がICTの基本的な操作ができるように指導することができる</li> </ul>		

指標		校内研修	校外研修
教育データの活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>教育データを適切に活用することの意義と効果を理解し、活用することができる</li> </ul>		

イ 基礎定着期

指標		校内研修	校外研修
教職に必要な素養	主体的に学び続ける姿勢	<ul style="list-style-type: none"> <li>児童生徒や教職員とのコミュニケーションを大切にするとともに、校内での研修・研究に関して自分の意見を適切に伝える</li> <li>自校の教育課題についての理解を深め、分掌組織の一員として、会議等で課題解決の方法について提案する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>必要な資質・能力の向上を目指して、主体的・意欲的に研修に取り組む</li> <li>家庭や地域・関係機関等との連携や学校安全に関する具体的な進め方や適切な対応方法を身に付ける</li> </ul>
	コミュニケーション能力	<ul style="list-style-type: none"> <li>豊かな人間性や人権感覚を有し、多様な児童生徒を受容するとともに、良好な人間関係を構築する力を備えている</li> <li>状況や目的に応じて、相手の思いを正しく受け止め、自分の思いを適切に伝える優れたコミュニケーション能力を備えている</li> <li>愛情をもって児童生徒との信頼関係を築いている</li> </ul>	<p>&lt;研修例&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>中堅教諭等資質向上研修講座</li> <li>N I T S 研修講座</li> </ul>
	マネジメント	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校の社会的役割を理解し、他の教職員と協働し、組織の一員として、自身の意見を効果的に伝えるなど積極的に教育課程や組織の運営に参画することができる</li> </ul>	
	連携・協働	<ul style="list-style-type: none"> <li>家庭や地域・関係機関等に対して、自校の指導方針等を伝えつつ、それぞれの理解と協力を得ることができる</li> <li>家庭や地域・関係機関等と良好な関係を築き、連携・協働した教育活動を推進することができる</li> </ul>	

指標		校内研修	校外研修	
	危機管理			
学習指導	専門的知識 各教科等の	<ul style="list-style-type: none"> <li>・校内での研修・研究に関して積極的に提案や研究授業等を行う</li> <li>・教員同士で指導方法等を共有し合えるよう、提案する</li> <li>・校内の研修・研究の場で、授業の改善点等について発言する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実践的指導力を養うとともに教科等に関する具体的な指導方法を身に付ける</li> <li>・専門的指導力、授業力を向上する</li> </ul> <p>&lt;研修例&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中堅教諭等資質向上研修講座</li> <li>・教科等専門研修講座</li> <li>・ちょっと学びタイム研修講座</li> <li>・N I T S 研修講座</li> </ul>	
	授業設計			<ul style="list-style-type: none"> <li>・各教科等の特質に応じ、資質・能力をばぐくむために必要となる専門的知識を身に付け、指導に生かすことができる</li> </ul>
	授業実践			<ul style="list-style-type: none"> <li>・カリキュラム・マネジメントの考え方を理解し、学習指導要領及び児童生徒の実態に基づき、他の教職員と協働して地域の人材等を活用した指導計画を作成し、授業を組み立てることができる</li> <li>・主体的・対話的で深い学びの視点に立った授業実践に努めるとともに、基礎的な知識・技能の確実な定着とそれらを適切に活用する力を培う児童生徒中心の授業を実践することができる</li> <li>・児童生徒理解に基づき、付けたい力を明確にして授業等を構想するとともに、主体的に研究授業等に取り組むことができる</li> </ul>
	評価・改善			<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童生徒の反応や理解度等の学習状況から自己の授業を評価し、研究授業等の機会を通して、課題を明確にした上で、授業改善に取り組むことができる</li> </ul>

		指標	校内研修	校外研修
生徒指導	づくり 児童生徒理解に基づく集団	<ul style="list-style-type: none"> <li>児童生徒一人一人の行動の変化を細部まで見逃さず捉え、児童生徒の生活背景を踏まえた実態の把握を行うことができる</li> <li>学校経営計画や学年の指導計画の下、状況に応じて自らの意見を述べ、児童生徒同士で考える支持的で創造的な学級経営を行うことができる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒指導に関する会議等で発言する</li> <li>学級の様子や生活指導上の課題について、教職員同士で情報を共有したり、対応したりする</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒指導やキャリア教育、教育相談等に関する専門的な知識・理解を深め、具体的な指導方法を身に付ける</li> </ul>
	指導	<ul style="list-style-type: none"> <li>全ての児童生徒が自発的・主体的に自ら成長を促すことのできる積極的な生徒指導を日常的に進めることができる</li> <li>深刻な課題を抱える特定の児童生徒に対して、他の教職員や関係機関等と連携しながら事象への多様な対応をすることができる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>外部機関との連携の在り方について深める</li> </ul>	<p>&lt;研修例&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>中堅教諭等資質向上研修講座</li> <li>課題別研修講座</li> <li>N I T S 研修講座</li> </ul>
	教育相談	<ul style="list-style-type: none"> <li>児童生徒の状況に応じて、教育相談等の必要性を判断したり、S C ・ S S W や関係機関等との円滑な連携を図ったりするために、児童生徒の実態等の現状について、他の教職員に確実に報告・連絡・相談することができる</li> <li>教育相談に関わる基礎理論を理解し、様々な資質や能力の積極的な獲得を支援する教育相談を実践することができる</li> </ul>		
	キャリア教育	<ul style="list-style-type: none"> <li>キャリア教育の視点に立って、児童生徒の発達段階に応じて勤労観・職業観を系統的に育成し、自らの在り方や生き方を設計できるような指導を行うことができる</li> </ul>		

		指標	校内研修	校外研修
特別な配慮や支援を必要とする児童生徒への対応		<ul style="list-style-type: none"> <li>児童生徒が示すサインやつまずきの早期発見に努め、児童生徒の行動等の背景にある特性について理解するなど実態把握をすることができる</li> <li>児童生徒の実態から一人一人の教育的ニーズに応じた個別の教育支援計画及び個別の指導計画の作成ができる</li> <li>それらに基づいた適切な指導・支援をすることができる</li> <li>児童生徒への適切な指導・支援を行うために、管理職や他の教職員に相談しながら、校内の支援体制を活用して組織的に対応することができる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>児童生徒の実態把握に基づいて個別の教育支援計画及び個別の指導計画を作成し、それに基づいた適切な指導・支援の方法について他の教職員や保護者に説明する</li> <li>校内支援委員会等において、児童生徒の指導・支援について提案する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>特別支援教育等に関する専門的な知識・理解を深め、適切な指導・支援の方法を身に付ける</li> </ul> <p>&lt;研修例&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>中堅教諭等資質向上研修講座</li> <li>課題別研修講座</li> <li>ちょっと学びタイム研修講座</li> <li>N I T S 研修講座</li> </ul>
ICTや情報・教育データの活用	活用 授業や校務への	<ul style="list-style-type: none"> <li>児童生徒の情報活用の基盤となる知識や技能の育成に向けて、授業や校務等においてICTを効果的に活用し、個に応じた指導方法を工夫して授業を実践することができる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ICTを効果的に活用した提案や研究授業等を行う</li> <li>教育データを活用し、児童生徒の指導・支援について発言する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ICT活用指導力を向上させ、デジタル技術の活用等に関する具体的な指導方法を身に付ける</li> </ul> <p>&lt;研修例&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>中堅教諭等資質向上研修講座</li> <li>課題別研修講座</li> <li>N I T S 研修講座</li> </ul>
	用 指導力	<ul style="list-style-type: none"> <li>児童生徒がICTを学習のツールとして使えるように指導することができる</li> </ul>		
	の 利活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>個々の児童生徒に応じた学習指導と生徒指導等の改善のため、教育データを適切に活用し、指導に役立てることができる</li> </ul>		

ウ 伸長期

		指標	校内研修	校外研修
教職に必要な素養	主体的に学び続ける姿勢	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境の変化を前向きに受け止め、よりよい教育の実現に向けて、研究と修養に励み、教員として常に学び続ける向上心を有している</li> <li>・教員としての仕事に対する使命感や誇りを持ち、責任感をもって職務に当たっている</li> <li>・法令や服務規準の遵守を徹底し、高い倫理観を有するとともに、優れた自己管理能力を備えている</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童生徒や教職員とのコミュニケーションを大切にするとともに、校内での研修・研究に関して他者の意見を受け止め、自分の意見を適切に伝える</li> <li>・自校の教育課題を分析・重点化し、研修・研究等の機会を通して教職員の対応力向上に関して適切に助言する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・必要な資質・能力の向上を目指して、主体的・意欲的に研修に取り組む</li> <li>・家庭や地域・関係機関等との連携や危機管理に関する具体的な進め方や適切な対応方法について具体的に助言する力を身に付ける</li> </ul>
	コミュニケーション能力	<ul style="list-style-type: none"> <li>・豊かな人間性や人権感覚を有し、多様な児童生徒を受容するとともに、良好な人間関係を構築する力を備えている</li> <li>・状況や目的に応じて、相手の思いを正しく受け止め、自分の思いを適切に伝える優れたコミュニケーション能力を備えている</li> <li>・愛情をもって児童生徒との信頼関係を築いている</li> </ul>		<研修例> <ul style="list-style-type: none"> <li>・キャリアアップ研修講座</li> <li>・N I T S研修講座</li> </ul>
	マネジメント	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自身や学校の強み・弱みを理解し、学校組織をつなぐ中核として、業務の見直しや課題解決に向けて、教育課程や組織の運営に関して他の教職員に助言することができる</li> </ul>		
	連携・協働	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教職員の中心となって家庭や地域・関係機関等と連携・協働した教育活動を計画・推進することができる</li> <li>・家庭や地域・関係機関等と連携・協働し、自校の課題を解決するための手法を他の教職員に助言することができる</li> </ul>		
	危機管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教職員の中心となって危機の未然防止に率先して取り組むことができる</li> <li>・自校の危機管理の具体的な方法について、他の教職員に助言することができる</li> </ul>		

教諭  
 伸長期



		指標	校内研修	校外研修
学習指導	各教科等の専門的知識	<ul style="list-style-type: none"> <li>各教科等の特質に応じ、資質・能力をはぐくむために必要となる専門的知識を高め、指導に生かすとともに他の教職員に助言することができる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>専門とする教科等について他の教員に助言を行う</li> <li>教職員の中心となって、指導計画や単元、授業の組立について提案する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>教科等の指導方法や教科等に関する具体的な指導の工夫について助言する力を身に付ける</li> </ul>
	授業設計	<ul style="list-style-type: none"> <li>学習指導要領及び自校の特色に基づき、リーダーシップを発揮して地域との連携・協働を図りながら指導計画を立案し、教育活動の質を高めるために単元や授業の組み立てを工夫し、実施することができる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>校内の研修・研究の場で、学習指導要領の趣旨や指導のねらいを踏まえ、授業改善について発言する</li> </ul>	<p>&lt;研修例&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>キャリアアップ研修講座</li> <li>教科等専門研修講座</li> <li>N I T S 研修講座</li> </ul>
	授業実践	<ul style="list-style-type: none"> <li>主体的・対話的で深い学びを実現するために、言語活動を充実させる等の具体的な視点をもって授業実践を行うとともに、個に応じた指導等により、確かな学力を培う児童生徒中心の授業を実践することができる</li> <li>授業力向上を図る観点から、教材研究や指導方法を工夫し、他の教員の授業構想等に対して助言することができる</li> </ul>		
	評価・改善	<ul style="list-style-type: none"> <li>児童生徒の学習意欲や目標達成度から適切に自己の授業を評価し、研究授業等の機会を通して、課題に対する解決方法を明確にして授業改善に取り組むことができる</li> </ul>		

		指標	校内研修	校外研修
生徒指導	団 づ くり 児童生徒理解に基づき集	<ul style="list-style-type: none"> <li>児童生徒一人一人の変化を的確に捉え、直ちにその変化の要因を確認し、教職員の中心となって、児童生徒の情報を収集し、それを他の教職員と共有することができる</li> <li>自校の教育目標に基づき、学年や分掌の具体目標と行動計画の設定及び見直しを行うことができる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>児童生徒の行動観察や教員からの情報に基づき、自校の生徒指導の課題を捉え、改善策を示す</li> <li>各学年、学級の指導状況を把握し、実態に応じて外部機関等と連携しながら組織的に対応する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒指導やキャリア教育、教育相談等に関する具体的な指導上の工夫について助言する力を身に付ける</li> </ul>
	指導	<ul style="list-style-type: none"> <li>全ての児童生徒に対する諸課題の発生を未然防止する具体的な生徒指導の方法を示すとともに、他の教職員に助言することができる</li> <li>深刻な課題を抱える特定の児童生徒に対して、自校の生徒指導の方針に基づき、教職員の中心となって組織的に事象に対応することができる</li> </ul>		<p>&lt;研修例&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>キャリアアップ研修講座</li> <li>課題別研修講座</li> <li>N I T S 研修講座</li> </ul>
	教育相談	<ul style="list-style-type: none"> <li>自校の中心となって、教育相談等の必要性を判断し、S C ・ S S W や関係機関等との効果的な連携・協力を推進するとともに、他の教職員に対してその活用について指導・助言することができる</li> <li>教育相談に関わる基礎理論を深く理解し、様々な資質や能力の積極的な獲得を支援する教育相談の組織的な取組を推進することができる</li> </ul>		
	キャリア教育	<ul style="list-style-type: none"> <li>家庭や地域・社会、産業界と連携しながら、学校の教育活動全体を通じて行うキャリア教育について、他の教職員に助言することができる</li> </ul>		

		指標	校内研修	校外研修
ICTや情報・教育データの利活用	特別な配慮や支援を必要とする児童生徒への対応	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校全体に係る特別支援教育をリードするとともに、児童生徒への適切な指導・支援について他の教職員に指導・助言することができる</li> <li>・特別な配慮や支援への対応に関する校内の体制整備等の具体的な方策を提案することができる</li> <li>・福祉・医療等の関係機関や専門家等と連携しながら、組織的・継続的に対応することができる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童生徒一人一人の特性に応じた適切な指導・支援について担任等へ助言を行う</li> <li>・校内支援委員会等において、学校や学年全体での具体的な指導・支援について提案する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特別支援教育等に関する適切な指導・支援について具体的に助言する力を身に付ける</li> </ul> <p>&lt;研修例&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・キャリアアップ研修講座</li> <li>・課題別研修講座</li> <li>・N I T S 研修講座</li> </ul>
	授業や校務への活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童生徒の情報活用能力の育成のために、授業や校務等において適切かつ効果的にICTを活用し、自己の実践を振り返り授業改善に取り組むとともに、ICT活用について他の教職員に助言することができる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ICT活用における実践課題を整理し、改善策を提案する</li> <li>・授業改善や児童生徒の指導・支援につながる教育データの効果的な利活用について提案する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・デジタル技術の活用等に関する具体的な指導の工夫やICT活用について助言する力を身に付ける</li> </ul> <p>&lt;研修例&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・キャリアアップ研修講座</li> <li>・N I T S 研修講座</li> </ul>
	指導力	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童生徒がICTを学習のツールとして使いこなせるように、児童生徒に応じて指導を工夫することができる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ICT活用</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個々の児童生徒に応じた学習指導と生徒指導等の改善のため、教育データを適切かつ効果的に活用し、授業改善や指導・支援について具体的に提案することができる</li> </ul>

教諭  
仲長期

教諭  
充実期

エ 充実期

		指標	校内研修	校外研修
教職に必要な素養	主体的に学び続ける姿勢	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境の変化を前向きに受け止め、よりよい教育の実現に向けて、研究と修養に励み、教員として常に学び続ける向上心を有している</li> <li>・教員としての仕事に対する使命感や誇りを持ち、責任感をもって職務に当たっている</li> <li>・法令や服務規準の遵守を徹底し、高い倫理観を有するとともに、優れた自己管理能力を備えている</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童生徒や教職員とのコミュニケーションを大切にするとともに、校内での研修・研究に関して他者の意見を受け止め、自分の意見を適切に伝え、改善策等を提案する</li> <li>・自校の教育課題を共有し、課題解決に向けて教職員の中心となって、組織的に対応する体制づくりについて提案する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・必要な資質・能力の向上を目指して、主体的・意欲的に研修に取り組む</li> <li>・家庭や地域・関係機関等との連携や危機管理に関する具体的な進め方や適切な対応方法について学校経営の視点から具体的に指導・助言する力を身に付ける</li> </ul> <p>&lt;研修例&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・キャリアアップ研修講座</li> <li>・N I T S 研修講座</li> </ul>
	コミュニケーション能力	<ul style="list-style-type: none"> <li>・豊かな人間性や人権感覚を有し、多様な児童生徒を受容するとともに、良好な人間関係を構築する力を備えている</li> <li>・状況や目的に応じて、相手の思いを正しく受け止め、自分の思いを適切に伝える優れたコミュニケーション能力を備えている</li> <li>・愛情をもって児童生徒との信頼関係を築いている</li> </ul>		
	ト マネジメン	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校組織マネジメントの意義を理解し、自校の特性を見極め、状況に応じて教職員が能力を発揮できる体制づくりの提案ができる</li> </ul>		
	連携・協働	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自校の課題解決に向け、学校内外における様々な人々と広く連携・協働を図るための組織づくりの提案ができる</li> <li>・自校の課題解決に向け、家庭や地域・関係機関等との連携・協働を推進するための具体的な方法について、他の教職員に指導・助言することができる</li> </ul>		
	危機管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自校の危機管理体制を常に点検することができる</li> <li>・危機管理に関する課題解決に向けた提案、改善など具体的な方法を他の教職員に指導・助言することができる</li> </ul>		

		指標	校内研修	校外研修
学習指導	知識 各教科等の専門的	<ul style="list-style-type: none"> <li>各教科等の特質に応じ、資質・能力をはぐくむために必要となる専門性を高め続けるとともに、学校自校の学習指導上の課題について、他の教職員に指導・助言することができる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>専門とする教科等について他の教員に指導・助言を行う</li> <li>校内の研修・研究の場で、研究主題等を踏まえ、授業改善について、積極的に発言する</li> <li>全学年・全教科等にわたる課題を整理し、教育課程の編成について会議等で提案する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>教科等の指導方法や教科等に関する具体的な指導の工夫や授業構想等について指導・助言する力を身に付ける</li> </ul>
	授業設計	<ul style="list-style-type: none"> <li>自校の教育目標に基づき、学習上の課題を明確に捉えるとともに、カリキュラム・マネジメントの視点をもち、教育課程の編成について、提案ができる</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>キャリアアップ研修講座</li> <li>N I T S 研修講座</li> </ul>
	授業実践	<ul style="list-style-type: none"> <li>主体的・対話的で深い学びを実現するために、多様で具体的な視点をもって授業実践を率先して行うとともに、学びを人生や社会に生かすことができる児童生徒中心の授業を実践することができる</li> <li>自校の教育目標達成の観点から、多様な工夫を取り入れた計画を立案し、他の教員の授業構想等に対して指導・助言することができる</li> </ul>		
	評価・改善	<ul style="list-style-type: none"> <li>自校の教育課題への対応や研究主題の達成の観点から自己の授業を適切に評価し、研究授業等の機会を通して、率先して授業改善に取り組むことができる</li> </ul>		

教諭  
充実期

		指標	校内研修	校外研修
生徒指導	づくり 児童生徒理解に基づく集団	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事象の要因を確認する際の対応及びその情報の取扱いを適切に行い、具体的指導例を伴って、他の教職員に対応方法等を指導・助言することができる</li> <li>・自校の教育目標の実現に向け、教育課程を点検することを通して、学校改善について推進することができる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アンケート等を実施し、生徒指導上の課題を整理し、まとめ、改善策を会議等で提案する</li> <li>・自校の生徒指導方針を明確に示し、教職員の中心となって、実態に応じて組織的に対応する体制づくりについて提案する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒指導やキャリア教育、教育相談等に関する具体的な指導上の工夫について指導・助言する力を身に付ける</li> </ul> <p>&lt;研修例&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・キャリアアップ研修講座</li> <li>・課題別研修講座</li> <li>・N I T S 研修講座</li> </ul>
	指導	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校全体に係る生徒指導をリードするとともに、他の教職員の指導方法について指導・助言することができる</li> <li>・自校の生徒指導の方針に基づいた生徒指導体制の構築に率先して取り組むことができる</li> </ul>		
	教育相談	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自校の中心となって、教育相談等の必要性を判断し、S C ・ S S W や関係機関等との効果的な連携・協力を推進するとともに、他の教職員に対してその活用について指導・助言することができる</li> <li>・教育相談に関わる基礎理論を深く理解し、様々な資質や能力の積極的な獲得を支援する教育相談の組織的な取組を推進することができる</li> </ul>		
	キャリア教育	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童生徒の実態や学校の特色、地域の実情など様々な視点から現状を把握しながら、学校の教育活動全体を通じて行うキャリア教育を推進し、その意義や方法、評価の在り方等を他の教職員に指導・助言することができる</li> </ul>		

		指標	校内研修	校外研修
特別な配慮や支援を必要とする児童生徒への対応		<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校全体に係る特別支援教育をリードするとともに、児童生徒への適切な指導・支援について他の教職員に指導・助言することができる</li> <li>・特別な配慮や支援への対応に関する校内の体制整備等の具体的な方策を提案することができる</li> <li>・福祉・医療等の関係機関や専門家等と連携しながら、組織的・継続的に対応することができる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童生徒に対する適切な指導・支援について検討する際、学校の教育活動全体を視野に指導・助言を行う</li> <li>・特別な配慮や支援への対応に関する校内体制の総括及び評価と改善について提案する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特別支援教育等に関する具体的な指導の工夫について学校の教育活動全体を視野に指導・助言する力を身に付ける</li> </ul> <p>&lt;研修例&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・キャリアアップ研修講座</li> <li>・課題別研修講座</li> <li>・N I T S 研修講座</li> </ul>
ICTや情報・教育データの利活用	用 授業や校務への活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ICTを多様な視点で活用した実践に取り組み、学校内外において自己の能力を生かし、教育の情報化を推進するとともに、ICT活用について他の教職員に指導・助言することができる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ICT活用における効果的な実践をまとめ、学校全体として取り組む研修を行う。</li> <li>・各教員の授業や各分掌の取組状況を把握し、学校の教育活動全体を視野に教育データの効果的な利活用について会議等で提案する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・デジタル技術の活用等に関する具体的な指導の工夫やICT活用について指導・助言する力を身に付ける</li> </ul> <p>&lt;研修例&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・キャリアアップ研修講座</li> <li>・N I T S 研修講座</li> </ul>
	指導力 ICT活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童生徒がICTを学習のツールとして使いこなし、学習を進められるように、児童生徒に応じて指導を工夫することができる</li> </ul>		
	利活用 教育データの	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育データの利活用に係る校内組織の整備を図るとともに、授業改善や効果的な指導・支援を充実させるため、利活用に関する評価・改善を行うことができる</li> </ul>		

教諭  
充実期

(2) 養護教諭等  
ア 基礎形成期

		指標	校内研修	校外研修
養護教諭等 基礎形成期	主体的に学び続ける姿勢	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境の変化を前向きに受け止め、よりよい教育の実現に向けて、研究と修養に励み、教員として常に学び続ける向上心を有している</li> <li>・教員としての仕事に対する使命感や誇りをもち、責任感をもって職務に当たっている</li> <li>・法令や服務規準の遵守を徹底し、高い倫理観を有するとともに、優れた自己管理能力を備えている</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童生徒や教職員とのコミュニケーションを大切にするとともに、校内での研修・研究に関して自分の意見を伝える</li> <li>・校務分掌の部会等で、自分の担当する職務について、指導を受けながら校務に参画する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・必要な資質・能力の向上を目指して、主体的・意欲的に研修に取り組む</li> <li>・家庭や地域との連携や学校安全に関する基礎・基本を身に付ける</li> </ul>
	コミュニケーション能力	<ul style="list-style-type: none"> <li>・豊かな人間性や人権感覚を有し、多様な児童生徒を受容するとともに、良好な人間関係を構築する力を備えている</li> <li>・状況や目的に応じて、相手の思いを正しく受け止め、自分の思いを適切に伝える優れたコミュニケーション能力を備えている</li> <li>・愛情をもって児童生徒との信頼関係を築いている</li> </ul>		<研修例> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新規採用者研修講座</li> <li>・初期研修講座</li> <li>・N I T S 研修講座</li> </ul>
	マネジメント	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校及び教職の意義を理解し、組織の一員として果たすべき役割を十分理解して職務を遂行することができる</li> </ul>		
	連携・協働	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家庭に対して、保健室の経営方針等を説明し、理解と協力を得ることができる</li> <li>・家庭の協力のもと学校保健活動を効果的に進めることができる</li> </ul>		
	危機管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校安全に関する基礎的な知識を有し、事象発生時には正しい手順で対応することができる</li> <li>・未然防止のための身の回りの安全点検を確実にを行うことができる</li> </ul>		

教職に必要な素養



		指標	校内研修	校外研修
専門領域における指導	保健管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>健康診断や健康観察により児童生徒の心身の健康状態の把握に努め、対応することができる</li> <li>学校保健安全法を理解し、学校環境衛生活動や感染症予防に関する保健管理ができる</li> <li>アレルギー疾患やメンタルヘルスの問題等、現代的な健康課題について理解し、適切に対応することができる</li> <li>常に救急処置に関する知識を更新し、適切に緊急時対応を行うことができる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>児童生徒の健康状態や健康課題について、日常的に他の教職員と相談したり、協議したりする</li> <li>学習指導要領に基づいて学習指導案を作成し、他の教職員の指導・助言を受ける</li> <li>保健室経営について、管理職や教職員の指導・助言を受ける</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>基礎的指導力と使命感を養うとともに、幅広い知見を身に付ける</li> <li>専門的知識、授業力を身に付ける</li> </ul> <p>&lt;研修例&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>新規採用者研修講座</li> <li>初期研修講座</li> <li>ちょっと学びタイム研修講座</li> <li>N I T S 研修講座</li> <li>研究会主催研修会</li> </ul>
	保健教育	<ul style="list-style-type: none"> <li>学習指導要領を理解し、養護教諭の専門性を生かして、主体的・対話的で深い学びの視点に立った指導を目指すことができる</li> </ul>		
	健康相談	<ul style="list-style-type: none"> <li>児童生徒の発達に伴う疾病を理解し、健康相談に関する基礎的知識をもって対応することができる</li> </ul>		
	組織的活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>保健室の利用しやすい環境づくりに努め、健康相談や救急処置等を行うことができる</li> <li>学校保健委員会や児童生徒保健委員会活動の意義と重要性を理解し、積極的に取り組むことができる</li> </ul>		
	評価・改善	<ul style="list-style-type: none"> <li>保健室経営計画の意義を理解し、立案することができる</li> <li>保健室経営計画に基づいて取組を評価し、研修会等の機会を通して知識の習得や技術の改善に取り組むことができる</li> </ul>		

		指標	校内研修	校外研修
生徒指導	団づくり 児童生徒理解に基づき集	<ul style="list-style-type: none"> <li>児童生徒一人一人の言動や心の動きからその児童生徒の置かれている現状を理解し、児童生徒と積極的に向き合うことができる</li> <li>児童生徒一人一人が自己存在感を実感し、相互の多様性を認め合い安心できる学級づくりに協力することができる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>管理職や主任等による研修や指導・助言を受ける</li> <li>学年会議等で児童生徒の様子や保健室経営等について相談したり、協議したりする</li> <li>外部機関との連携の在り方について知る</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒指導やキャリア教育、教育相談等の基礎・基本を身に付ける</li> </ul> <p>&lt;研修例&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>新規採用者研修講座</li> <li>初期研修講座</li> <li>課題別研修講座</li> <li>N I T S 研修講座</li> </ul>
	指導	<ul style="list-style-type: none"> <li>全ての児童生徒が自発的・主体的に成長や発達をしていく過程を支える視点を理解している。</li> <li>深刻な課題を抱える特定の児童生徒に対して、他の教職員からの助言・支援を得ながら事象に対応することができる</li> </ul>		
	教育相談	<ul style="list-style-type: none"> <li>児童生徒の状況に応じて、教育相談等の必要性を判断したり、S C ・ S S W や関係機関等との円滑な連携を図ったりするために、児童生徒の実態等の現状について、他の教職員に確実に報告・連絡・相談することができる</li> <li>教育相談に関わる基礎理論を理解し、様々な資質や能力の積極的な獲得を支援する教育相談を実践することができる</li> </ul>		
	キャリア教育	<ul style="list-style-type: none"> <li>キャリア教育の意義を理解し、児童生徒の発達段階に応じて勤労観・職業観を育成し、新たな学習や生活への意欲につなげたり、将来の生き方を考えたりする活動を実践することができる</li> </ul>		

		指標	校内研修	校外研修
特別な配慮や支援を必要とする児童生徒への対応		<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童生徒が示すサインやつまずきの早期発見に努め、児童生徒の行動等の背景にある特性について理解するなど実態把握をすることができる</li> <li>・児童生徒の実態から一人一人の教育的ニーズに応じた個別の教育支援計画及び個別の指導計画の作成ができ、それらに基づいた適切な指導・支援をすることができる</li> <li>・児童生徒へ適切な指導・支援を行うために、管理職や他の教職員に相談しながら、組織的・継続的に対応することができる</li> <li>・医療的ケアが必要な児童生徒や長期療養により登校できない児童生徒について、医療機関等と連携した指導・支援をすることができる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日々の観察やチェックリスト等を活用して児童生徒の実態把握に取り組む方法を理解する</li> <li>・特別支援教育コーディネーターや指導教員等から助言を受け、個別の教育支援計画及び個別の指導計画等の作成や支援のための知識・理解を深める</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特別支援教育等に関する基礎的・基本的な知識を身に付ける</li> </ul> <p>&lt;研修例&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新規採用者研修</li> <li>・初期研修講座</li> <li>・課題別研修講座</li> <li>・ちょっと学びタイム研修講座</li> <li>・N I T S 研修講座</li> </ul>
ICTや情報・教育データの活用	保健管理や保健指導への活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校におけるICT活用の意義を理解し、児童生徒の健康診断結果や保健室来室状況などのデータ管理において、ICTを活用することができる</li> <li>・学校感染症サーベイランス等の情報を収集し、的確に分析することで感染予防に役立てることができる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・情報活用能力の育成やICTを活用した実践について、日常的に他の教員の授業を参観する</li> <li>・教育データの活用について、学年等で相談したり、協議したりする</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ICT活用指導力の基礎・基本を身に付ける</li> </ul> <p>&lt;研修例&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新規採用者研修講座</li> <li>・初期研修講座</li> <li>・課題別研修講座</li> <li>・N I T S 研修講座</li> </ul>
	ICT活用の指導力	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童生徒がICTの基本的な操作ができるように指導することができる</li> </ul>		
	教育データの活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育データを適切に活用することの意義と効果を理解し、活用することができる</li> </ul>		

イ 基礎定着期

		指標	校内研修	校外研修
教職に必要な素養	主体的に学び続ける姿勢	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境の変化を前向きに受け止め、よりよい教育の実現に向けて、研究と修養に励み、教員として常に学び続ける向上心を有している</li> <li>・教員としての仕事に対する使命感や誇りをもち、責任感をもって職務に当たっている</li> <li>・法令や服務規準の遵守を徹底し、高い倫理観を有するとともに、優れた自己管理能力を備えている</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童生徒や教職員とのコミュニケーションを大切にするとともに、校内での研修・研究に関して自分の意見を適切に伝える</li> <li>・自校の健康課題についての理解を深め、分掌組織の一員として、会議等で課題解決の方法について提案する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・必要な資質・能力の向上を目指して、主体的・意欲的に研修に取り組む</li> <li>・家庭や地域・関係機関等との連携や学校安全に関する具体的な進め方や適切な対応方法を身に付ける</li> </ul> <研修例> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中堅教諭等資質向上研修講座</li> <li>・N I T S 研修講座</li> </ul>
	コミュニケーション能力	<ul style="list-style-type: none"> <li>・豊かな人間性や人権感覚を有し、多様な児童生徒を受容するとともに、良好な人間関係を構築する力を備えている</li> <li>・状況や目的に応じて、相手の思いを正しく受け止め、自分の思いを適切に伝える優れたコミュニケーション能力を備えている</li> <li>・愛情をもって児童生徒との信頼関係を築いている</li> </ul>		
	マネジメント	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校の社会的役割を理解し、他の教職員と協働し、組織の一員として、自身の意見を効果的に伝えるなど積極的に教育課程や組織の運営に参画することができる</li> </ul>		
	連携・協働	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家庭や地域・関係機関等に対して、自校の指導方針等を伝えつつ、それぞれの理解と協力を得ることができる</li> <li>・家庭や地域・関係機関等と良好な関係を築き、連携・協働した学校保健活動を推進することができる</li> </ul>		
	危機管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>・危機管理の重要性や自身の役割を十分理解し、事象発生時には適切に対応することができる</li> <li>・安心・安全な学校づくりに他の教職員と協働して取り組むことができる</li> </ul>		

		指標	校内研修	校外研修
専門領域における指導	保健管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>健康診断や健康観察により児童生徒の心身の疾病や異常を早期に発見し、適切に対応することができる</li> <li>学校保健安全法を理解し、学校環境衛生活動や感染症予防に関する保健管理ができる</li> <li>アレルギー疾患やメンタルヘルスの問題等、現代的な健康課題について理解し、適切に対応することができる</li> <li>常に救急処置に関する知識を更新し、適切に緊急時対応を行うことができる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>主体的に児童生徒の健康課題の解決等に取り組む</li> <li>教員同士で指導方法等を共有し合えるよう、提案する</li> <li>校内の研修・研究の場で、授業の改善点等について発言する</li> <li>保健室経営について、管理職や教職員の指導・助言を受ける</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>実践的指導力を養うとともに教科等に関する具体的な指導方法を身に付ける</li> <li>専門的指導力、授業力を向上する</li> </ul> <p>&lt;研修例&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>中堅教諭等資質向上研修講座</li> <li>教科等専門研修講座</li> <li>N I T S 研修講座</li> <li>研究会主催研修会</li> </ul>
	保健教育	<ul style="list-style-type: none"> <li>カリキュラム・マネジメントの考え方を理解し、学級担任や教科担任等と連携し、専門性を生かした保健教育の実践ができる</li> </ul>		
	健康相談	<ul style="list-style-type: none"> <li>健康相談のプロセスを理解し、児童生徒の健康課題について、他の教職員や S C ・ S S W 等の専門スタッフと連携し、早期に対応することができる</li> </ul>		
	組織的活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>他の教職員と連携し、児童生徒が安全・安心して保健室が利用できるよう運営することができる</li> <li>保健主事と共に児童生徒の実態に応じた学校保健計画を立案し、保健組織活動を積極的に推進し、児童生徒と教職員が主体的に参加する体制を整えることができる</li> </ul>		
	評価・改善	<ul style="list-style-type: none"> <li>情報を収集・分析し、児童生徒の健康課題を明らかにすることで実態に応じた保健室経営計画を立案することができる</li> <li>保健室経営計画に基づき、より積極的に実践し、適切な評価・改善を行うことができる</li> </ul>		

養護教諭等  
基礎定着期

		指標	校内研修	校外研修
生徒指導	児童生徒理解に基づき集団づくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童生徒一人一人の行動の変化を細部まで見逃さず捉え、児童生徒の生活背景を踏まえた実態の把握を行うことができる</li> <li>・学校経営計画や学年の指導計画の下、状況に応じて自らの意見を述べ、児童生徒同士で考える支持的で創造的な学級経営に参画することができる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒指導に関する会議等で発言する</li> <li>・学級の様子や生活指導上の課題について、教職員同士で情報を共有したり、対応したりする</li> <li>・外部機関との連携の在り方について深める</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒指導やキャリア教育、教育相談等に関する専門的な知識・理解を深め、具体的な指導方法を身に付ける</li> </ul> <p>&lt;研修例&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中堅教諭等資質向上研修講座</li> <li>・課題別研修講座</li> <li>・N I T S 研修講座</li> </ul>
	指導	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全ての児童生徒が自発的・主体的に自ら成長を促すことのできる積極的な生徒指導を日常的に進めることができる</li> <li>・深刻な課題を抱える特定の児童生徒に対して、他の教職員や関係機関等と連携しながら事象への多様な対応をすることができる</li> </ul>		
	教育相談	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童生徒の状況に応じて、教育相談等の必要性を判断したり、S C ・ S S W や関係機関等との円滑な連携を図ったりするために、児童生徒の実態等の現状について、他の教職員に確実に報告・連絡・相談することができる</li> <li>・教育相談に関わる基礎理論を理解し、様々な資質や能力の積極的な獲得を支援する教育相談を実践することができる</li> </ul>		
	キャリア教育	<ul style="list-style-type: none"> <li>・キャリア教育の視点に立って、児童生徒の発達段階に応じて勤労観・職業観を系統的に育成し、自らの在り方や生き方を設計できるような指導を行うことができる</li> </ul>		

		指標	校内研修	校外研修	
ICTや情報・教育データの利活用		保健管理や保健指導への活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ICTを効果的に活用した提案等を行う</li> <li>・教育データを活用し、児童・生徒の指導支援について発言する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ICT活用指導力を向上させ、デジタル技術の活用等に関する具体的な指導方法を身に付ける</li> </ul> <p>&lt;研修例&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中堅教諭等資質向上研修講座</li> <li>・課題別研修講座</li> <li>・N I T S 研修講座</li> </ul>	
		ICT活用指導力			<ul style="list-style-type: none"> <li>・ICTを活用するための知識・技能を身に付け、より効果的にICTを活用した保健教育を実践することができる</li> </ul>
		教育データの利活用			<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童生徒がICTを学習のツールとして使えるように指導することができる</li> <li>・個々の児童生徒に応じた学習指導と生徒指導等の改善のため、教育データを適切に活用し、指導に役立てることができる</li> </ul>
特別な配慮や支援を必要とする児童生徒への対応		<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童生徒が示すサインやつまずきの早期発見に努め、児童生徒の行動等の背景にある特性について理解するなど実態把握をすることができる</li> <li>・児童生徒の実態から一人一人の教育的ニーズに応じた個別の教育支援計画及び個別の指導計画の作成ができ、それらに基づいた適切な指導・支援をすることができる</li> <li>・児童生徒への適切な指導・支援を行うために、管理職や他の教職員に相談しながら、校内の支援体制を活用して組織的に対応することができる</li> <li>・医療的ケアが必要な児童生徒や長期療養により登校できない児童生徒について、医療機関等と連携した指導・支援をすることができる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童生徒の実態把握に基づいて個別の教育支援計画及び個別の指導計画を作成し、それに基づいた適切な指導・支援の方法について他の教職員や保護者に説明する</li> <li>・校内支援委員会等において、児童生徒の指導・支援について提案する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特別支援教育等に関する専門的な知識・理解を深め、適切な指導・支援の方法を身に付ける</li> </ul> <p>&lt;研修例&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中堅教諭等資質向上研修講座</li> <li>・課題別研修講座</li> <li>・ちょっと学びタイム研修講座</li> <li>・N I T S 研修講座</li> </ul>	

養護教諭等  
基礎定着期

ウ 伸長期

		指標	校内研修	校外研修
教職に必要な素養	主体的に学び続ける姿勢	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境の変化を前向きに受け止め、よりよい教育の実現に向けて、研究と修養に励み、教員として常に学び続ける向上心を有している</li> <li>・教員としての仕事に対する使命感や誇りをもち、責任感をもって職務に当たっている</li> <li>・法令や服務規準の遵守を徹底し、高い倫理観を有するとともに、優れた自己管理能力を備えている</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童生徒や教職員とのコミュニケーションを大切にするとともに、校内での研修・研究に関して他者の意見を受け止め、自分の意見を適切に伝える</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・必要な資質・能力の向上を目指して、主体的・意欲的に研修に取り組む</li> <li>・家庭や地域・関係機関等との連携や危機管理に関する具体的な進め方や適切な対応方法について具体的に助言する力を身に付ける</li> </ul>
	コミュニケーション能力	<ul style="list-style-type: none"> <li>・豊かな人間性や人権感覚を有し、多様な児童生徒を受容するとともに、良好な人間関係を構築する力を備えている</li> <li>・状況や目的に応じて、相手の思いを正しく受け止め、自分の思いを適切に伝える優れたコミュニケーション能力を備えている</li> <li>・愛情をもって児童生徒との信頼関係を築いている</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自校の健康課題を分析・重点化し、研修・研究等の機会を通して教職員の対応力向上に関して適切に助言する</li> </ul>	<研修例> <ul style="list-style-type: none"> <li>・キャリアアップ研修講座</li> <li>・N I T S 研修講座</li> </ul>
	マネジメント	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自身や学校の強み・弱みを理解し、学校組織をつなぐ中核として、業務の見直しや課題解決に向けて、教育課程や組織の運営に関して他の教職員に助言することができる</li> </ul>		
	連携・協働	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教職員の中心となって家庭や地域・関係機関等と連携・協働した学校保健活動を計画し推進することができる</li> <li>・家庭や地域・関係機関等と連携・協働し、自校の健康課題を解決するための手法を他の教職員に助言することができる</li> </ul>		
	危機管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教職員の中心となって危機の未然防止に率先して取り組むことができる</li> <li>・自校の危機管理の具体的な方法について、他の教職員に助言することができる</li> </ul>		



		指標	校内研修	校外研修
専門領域における指導	保健管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>健康診断や健康観察により児童生徒の健康課題を明確にし、その解決に向けて支援方法を立案し、組織的に対応することができる</li> <li>現代的な健康課題に対応できるよう校内研修を企画するなど、保健管理に関して指導的な立場を果たすことができる</li> <li>常に救急処置に関する知識を更新し、適切に緊急時対応を行うとともに、校内研修等を通じて他の教職員に指導することができる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>児童生徒の健康課題の解決の方策等について、教員同士で共有し、組織的に取り組む</li> <li>校内の研修・研究の場で、児童生徒の健康課題やその解決策等について発言する</li> <li>校内での研修・研究に関して積極的に提案や研究授業等を行う</li> <li>保健室経営について、管理職や教職員の指導・助言を受ける</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>実践的指導力を養うとともに教科等に関する具体的な指導方法を身に付ける</li> <li>専門的指導力、授業力を向上する</li> </ul> <p>&lt;研修例&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>キャリアアップ研修講座</li> <li>教科等専門研修講座</li> <li>N I T S 研修講座</li> <li>研究会主催研修会</li> </ul>
	保健教育	<ul style="list-style-type: none"> <li>児童生徒の発達段階に応じて、主体的・対話的で深い学びの視点に立った保健教育を実践するとともに、適切な評価と改善を行うことができる</li> </ul>		
	健康相談	<ul style="list-style-type: none"> <li>児童生徒の健康課題について、保護者や専門家と連携し、適切に対応することができる（コーディネーター的役割）</li> </ul>		
	組織的活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校教育目標の実現に向け、組織運営に積極的に参加し、保健室経営を工夫・改善することができる</li> <li>健康課題を把握し、学校三師・関係機関・関係者との連携協力体制を構築・運営することができる</li> </ul>		
	評価・改善	<ul style="list-style-type: none"> <li>児童生徒の健康課題の解決のために適切な方策を考え、保健室経営計画に反映することができる</li> <li>保健室経営計画に基づいて実践を深めるとともに、他者評価を得るなど、より多面的に評価・改善を行うことができる</li> </ul>		

		指標	校内研修	校外研修
生徒指導	児童生徒理解に基づき集団づくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童生徒一人一人の変化を的確に捉え、直ちにその変化の要因を確認し、教職員の中心となって、児童生徒の情報を収集し、それを他の教職員と共有することができる</li> <li>・自校の教育目標に基づき、学年や分掌の具体目標と行動計画の設定及び見直しを行うことができる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童生徒の行動観察や教員からの情報に基づき、自校の生徒指導の課題を捉え、改善策を示す</li> <li>・各学年、学級の指導状況を把握し、実態に応じて外部機関等と連携しながら組織的に対応する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒指導やキャリア教育、教育相談等に関する具体的な指導上の工夫について助言する力を身に付ける</li> </ul> <p>&lt;研修例&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・キャリアアップ研修講座</li> <li>・課題別研修講座</li> <li>・N I T S 研修講座</li> </ul>
	指導	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全ての児童生徒に対する諸課題の発生を未然防止する具体的な生徒指導の方法を示すとともに、他の教職員に助言することができる</li> <li>・深刻な課題を抱える特定の児童生徒に対して、自校の生徒指導の方針に基づき、教職員の中心となって組織的に事象に対応することができる</li> </ul>		
	教育相談	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自校の中心となって、教育相談等の必要性を判断し、S C ・ S S W や関係機関等との効果的な連携・協力を推進するとともに、他の教職員に対してその活用について指導・助言することができる</li> <li>・教育相談に関わる基礎理論を深く理解し、様々な資質や能力の積極的な獲得を支援する教育相談の組織的な取組を推進することができる</li> </ul>		
	キャリア教育	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家庭や地域・社会、産業界と連携しながら、学校の教育活動全体を通じて行うキャリア教育について、他の教職員に助言することができる</li> </ul>		

		指標	校内研修	校外研修
ICTや情報・教育データの利活用	特別な配慮や支援を必要とする児童生徒への対応	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校全体に係る特別支援教育をリードするとともに、児童生徒への適切な指導・支援について他の教職員に指導・助言することができる</li> <li>・特別な配慮や支援への対応に関する校内の体制整備等の具体的な方策を提案することができる</li> <li>・福祉・医療等の関係機関や専門家等と連携しながら、組織的・継続的に対応することができる</li> <li>・医療的ケアが必要な児童生徒や長期療養により登校できない児童生徒の対応について、医療機関等と連携しながら組織的・継続的な支援につなげることができる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童生徒一人一人の特性に応じた適切な指導・支援について担任等へ助言を行う</li> <li>・校内支援委員会等において、学校や学年全体での具体的な指導・支援について提案する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特別支援教育等に関する適切な指導・支援について具体的に助言する力を身に付ける</li> </ul> <p>&lt;研修例&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・キャリアアップ研修講座</li> <li>・課題別研修講座</li> <li>・N I T S 研修講座</li> </ul>
	保健管理や保健指導への活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ICTを効果的に活用し、児童生徒の健康診断結果や保健室入室状況などのデータを分析することで、児童生徒の健康課題を把握し、他の教職員と協働して健康課題の解決に向けた実践に取り組むことができる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ICT活用における実践課題を整理し、改善策を提案する</li> <li>・授業改善や児童生徒の指導支援につながる教育データの効果的な利活用について提案する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・デジタル技術の活用等に関する具体的な指導の工夫やICT活用について助言する力を身に付ける</li> </ul> <p>&lt;研修例&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・キャリアアップ研修講座</li> <li>・課題別研修講座</li> <li>・N I T S 研修講座</li> </ul>
	指導力	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童生徒がICTを学習のツールとして使いこなせるように、児童生徒に応じて指導を工夫することができる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個々の児童生徒に応じた学習指導と生徒指導等の改善のため、教育データを適切かつ効果的に活用し、授業改善や指導・支援について具体的に提案することができる</li> </ul>	
用	教育データの利活用			

養護教諭等  
伸長期

エ 充実期

		指標	校内研修	校外研修
教職に必要な素養	主体的に学び続ける姿勢	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境の変化を前向きに受け止め、よりよい教育の実現に向けて、研究と修養に励み、教員として常に学び続ける向上心を有している</li> <li>・教員としての仕事に対する使命感や誇りをもち、責任感をもって職務に当たっている</li> <li>・法令や服務規準の遵守を徹底し、高い倫理観を有するとともに、優れた自己管理能力を備えている</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童生徒や教職員とのコミュニケーションを大切にするとともに、校内での研修・研究に関して他者の意見を受け止め、自分の意見を適切に伝え、改善策等を提案する</li> <li>・自校の健康課題を共有し、課題解決に向けて教職員の中心となって、組織的に対応する体制づくりについて提案する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・必要な資質・能力の向上を目指して、主体的・意欲的に研修に取り組む</li> <li>・家庭や地域・関係機関等との連携や危機管理に関する具体的な進め方や適切な対応方法について学校経営の視点から具体的に指導・助言する力を身に付ける</li> </ul> <p>&lt;研修例&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・キャリアアップ研修講座</li> <li>・N I T S 研修講座</li> </ul>
	コミュニケーション能力	<ul style="list-style-type: none"> <li>・豊かな人間性や人権感覚を有し、多様な児童生徒を受容するとともに、良好な人間関係を構築する力を備えている</li> <li>・状況や目的に応じて、相手の思いを正しく受け止め、自分の思いを適切に伝える優れたコミュニケーション能力を備えている</li> <li>・愛情をもって児童生徒との信頼関係を築いている</li> </ul>		
	マネジメント	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校組織マネジメントの意義を理解し、自校の特性を見極め、状況に応じて教職員が能力を発揮できる体制づくりについて提案することができる</li> </ul>		
	連携・協働	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自校の健康課題の解決に向け、学校内外における様々な人々と広く連携・協働を図るための組織づくりについて提案することができる</li> <li>・自校の課題解決に向け、家庭や地域・関係機関等との連携・協働を推進するための具体的な方法について、健康面から他の教職員に指導・助言することができる</li> </ul>		

養護教諭等  
充実期

		指標	校内研修	校外研修
	危機管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自校の危機管理体制を常に点検することができる</li> <li>・危機管理に関する課題解決に向けた提案、改善など具体的な方法を他の教職員に指導・助言することができる</li> </ul>		
専門領域における指導	保健管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>・専門性を生かし、校内や地域の関係機関と連携しながら学校保健に係る学校運営に参画することができる</li> <li>・現代的な健康課題の解決に向けて、常に新しい知識や技能を習得し、学校内外で指導的立場を果たすことができる</li> <li>・常に救急処置に関する知識を更新し、適切に緊急時対応を行うとともに、校内研修等を通じて他の教職員に指導することができる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童生徒の健康課題の解決等について他の教員に指導・助言を行う</li> <li>・校内の研修・研究の場で、研究主題等を踏まえ、授業改善について、積極的に発言する</li> <li>・全学年・全教科等にわたる課題を整理し、教育課程の編成について会議等で提案する</li> <li>・保健室経営について、管理職や教職員の指導・助言を受ける</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教科等の指導方法や教科等に関する具体的な指導の工夫や授業構想等について指導・助言する力を身に付ける</li> </ul> <p>&lt;研修例&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・キャリアアップ研修講座</li> <li>・教科等専門研修講座</li> <li>・N I T S 研修講座</li> <li>・研究会主催研究会</li> </ul>
	保健教育	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童生徒や地域の健康課題を踏まえ、地域の専門家や関係機関と連携した指導を実践し、他の教職員に指導・助言することができる</li> </ul>		
	健康相談	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童生徒の健康課題に関する校内支援体制の推進のため、校内相談体制の指導と確立に積極的に取り組むことができる</li> </ul>		
	組織的活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の関係機関と効果的に連携・調整し、学校保健活動のセンター的機能の充実を図ることができる</li> <li>・保護者や地域との連携、協働した実施体制のもと、組織的な活動をマネジメントすることができる</li> </ul>		

		指標	校内研修	校外研修
	評価・改善	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保健室経営計画がより組織的活動となるよう立案することができる</li> <li>・これまでの取組について適切に評価し、学校内外の教職員・養護教諭等へ成果を伝えることで、それぞれの授業や保健室経営計画の評価・改善に役立てることができる</li> </ul>		
	づくり 児童生徒理解に基づく集団	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事象の要因を確認する際の対応及びその情報の取扱いを適切に行い、具体的指導例を伴って、他の教職員に対応方法等を指導・助言することができる</li> <li>・自校の教育目標の実現に向け、教育課程を点検することを通して、学校改善について推進することができる</li> </ul>		
生徒指導	指導	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校全体に係る生徒指導をリードするとともに、他の教職員の指導方法について指導・助言することができる</li> <li>・自校の生徒指導の方針に基づいた生徒指導体制の構築に率先して取り組むことができる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アンケート等を実施し、生徒指導上の課題を整理し、まとめ、改善策を会議等で提案する</li> <li>・自校の生徒指導方針を明確に示し、教職員を中心となって、実態に応じて組織的に対応できる体制づくりについて提案する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒指導やキャリア教育、教育相談等に関する具体的な指導上の工夫について指導・助言する力を身に付ける</li> </ul>
	教育相談	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自校の中心となって、教育相談等の必要性を判断し、SC・SSW や関係機関等との効果的な連携・協力を推進するとともに、他の教職員に対してその活用について指導・助言することができる</li> <li>・教育相談に関わる基礎理論を深く理解し、様々な資質や能力の積極的な獲得を支援する教育相談の組織的な取組を推進することができる</li> </ul>		<p>&lt;研修例&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・キャリアアップ研修講座</li> <li>・課題別研修講座</li> <li>・N I T S 研修講座</li> </ul>

		指標	校内研修	校外研修
	キャリア教育	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童生徒の実態や学校の特色、地域の実情など様々な視点から現状を把握しながら、学校の教育活動全体を通じて行うキャリア教育を推進し、その意義や方法、評価の在り方等を他の教職員に指導・助言することができる</li> </ul>		
	特別な配慮や支援を必要とする児童生徒への対応	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校全体に係る特別支援教育をリードするとともに、児童生徒への適切な指導・支援について他の教職員に指導・助言することができる</li> <li>・特別な配慮や支援への対応に関する校内の体制整備等の具体的な方策を提案することができる</li> <li>・福祉・医療等の関係機関や専門家等と連携しながら、組織的・継続的に対応することができる</li> <li>・医療的ケアが必要な児童生徒や長期療養により登校できない児童生徒の対応について、医療機関等と連携しながら組織的・継続的な支援につなげることができる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童生徒に対する適切な指導・支援について検討する際、学校経営の視点から指導・助言を行う</li> <li>・特別な配慮や支援への対応に関する校内体制の総括及び評価と改善について提案する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特別支援教育等に関する具体的な指導の工夫について学校経営の視点から指導・助言する力を身に付ける</li> </ul> <p>&lt;研修例&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・キャリアアップ研修講座</li> <li>・課題別研修講座</li> <li>・N I T S 研修講座</li> </ul>
ICTや情報・教育データの利活用	保健管理や保健指導への活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ICTを効果的に活用し、健康状態だけでなく、学力・体力・生活状況調査等のデータから児童生徒を多面的に理解し、他の教職員に健康課題に関する指導・助言をすることができる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ICT活用における効果的な実践をまとめ、学校全体として取り組む研修を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・デジタル技術の活用等に関する具体的な指導の工夫やICT活用について指導・助言する力を身に付ける</li> </ul>
	ICT活用指導力	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童生徒がICTを学習のツールとして使いこなし、学習を進められるように、児童生徒に応じて指導を工夫することができる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各教員の授業や各分掌の取組状況を把握し、学校経営の視点から教育データの効果的な利活用について会議等で提案する</li> </ul>	<p>&lt;研修例&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・キャリアアップ研修講座</li> <li>・課題別研修講座</li> <li>・N I T S 研修講座</li> </ul>
	教育データの利活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育データの利活用に係る校内組織の整備を図るとともに、授業改善や効果的な指導・支援を充実させるため、利活用に関する評価・改善を行うことができる</li> </ul>		

(3) 栄養教諭等

ア 基礎形成期

		指標	校内研修	校外研修
教職に必要な素養	主体的に学び続ける姿勢	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境の変化を前向きに受け止め、よりよい教育の実現に向けて、研究と修養に励み、教員として常に学び続ける向上心を有している</li> <li>・教員としての仕事に対する使命感や誇りを持ち、責任感をもって職務に当たっている</li> <li>・法令や服務規準の遵守を徹底し、高い倫理観を有するとともに、優れた自己管理能力を備えている</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・指導教員等から助言を受け、教育課題に関わる法的な位置付けや学習指導要領を確認するなどして、主体的に対応できるように知識・理解を深める</li> <li>・指導教員や研修担当教員等から連携等の方法等について指導・助言を受けながら業務を遂行する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実践的指導力と使命感を養うとともに、幅広い知見を身に付ける</li> <li>・授業力、児童生徒理解力、専門的指導力を向上する</li> </ul>
	コミュニケーション能力	<ul style="list-style-type: none"> <li>・豊かな人間性や人権感覚を有し、多様な児童生徒を受容するとともに、良好な人間関係を構築する力を備えている</li> <li>・状況や目的に応じて、相手の思いを正しく受け止め、自分の思いを適切に伝える優れたコミュニケーション能力を備えている</li> <li>・愛情をもって児童生徒との信頼関係を築いている</li> </ul>		<p>&lt;研修例&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・初任者研修講座</li> <li>・初期研修講座</li> <li>・研究会主催研修会</li> </ul>
	マネジメント	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校及び教職の意義を理解し、組織の一員として果たすべき役割を十分理解して職務を遂行することができる</li> <li>・食育と学校給食の管理の基本的な知識を的確に活用することができる</li> </ul>		
	連携・協働	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家庭や地域に対して、食育推進の方針等を説明し、理解と協力を得ることができる</li> <li>・家庭や地域の協力のもと食育を効果的に進めることができる</li> </ul>		
	危機管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校安全に関する基礎的な知識を有し、事象発生時には正しい手順で対応することができる</li> <li>・未然防止のための身の回りの安全点検を確実に行うことができる</li> </ul>		



		指標	校内研修	校外研修
専門領域における指導	栄養管理	・学校給食摂取基準について理解し、地場産物の活用に配慮した献立を作成することができる	<ul style="list-style-type: none"> <li>・研修担当教員等から栄養管理や衛生管理について指導・助言を受けながら業務を遂行する</li> <li>・指導教諭等の授業を参観する</li> <li>・教職員等と食に関する目標や取組内容を相談したり、協議したりする</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実践的指導力と使命感を養うとともに、幅広い知見を身に付ける</li> <li>・専門的知見を深める</li> </ul> <p>&lt;研修例&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・初任者研修講座</li> <li>・初期研修講座</li> <li>・教科等専門研修講座</li> <li>・研究会主催研修会</li> </ul>
	衛生管理	・学校給食衛生管理基準について理解し、安全で安心な給食を提供することができる		
	各教科等における食に関する指導	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学級担任や教科担任等と連携し、食育の視点を意識した食に関する指導の実践や資料提供をすることができる</li> <li>・学校給食を生きた教材として活用した食に関する指導を実践することができる</li> </ul>		
	個別的な相談指導	・偏食、肥満・痩身、食物アレルギー等について理解し、他の教職員や保護者と連携して対応することができる		
	評価・改善	・給食管理や食に関する指導の取組状況から自己の取組を評価し、研修等の機会を通して知識の向上及び指導方法等の改善に取り組むことができる		
生徒指導	児童生徒理解に基づく集団づくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童生徒の言動や心の動きからその児童生徒の置かれている現状を理解することができる</li> <li>・食に関する指導の時間や休憩時間等のあらゆる場面において、児童生徒一人一人と積極的に向き合うことができる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒指導担当教員等による研修や指導・助言を受ける</li> <li>・学年や分掌等でテーマを決め、相談したり、協議したりする</li> <li>・生活指導に関する会議等で意見を述べたりする</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒指導、教育相談に関する基本的な知識を身に付ける</li> </ul> <p>&lt;研修例&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・初任者研修講座</li> <li>・初期研修講座</li> <li>・課題別研修講座</li> <li>・研究会主催研修会</li> </ul>
	指導	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全ての児童生徒が自発的・主体的に成長や発達をしていく過程を支える視点を理解している。</li> <li>・深刻な課題を抱える特定の児童生徒に対して、他の教職員からの助言・支援を得ながら事象に対応することができる</li> </ul>		

		指標	校内研修	校外研修
	教育相談	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童生徒の状況に応じて、教育相談等の必要性を判断したり、SC・SSWや関係機関等との円滑な連携を図ったりするために、児童生徒の実態等の現状について、他の教職員に確実に報告・連絡・相談することができる</li> <li>・教育相談に関わる基礎理論を理解し、様々な資質や能力の積極的な獲得を支援する教育相談を実践することができる</li> </ul>		
	特別な配慮や支援を必要とする児童生徒への対応	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童生徒が示すサインや健康課題等の早期発見に努め、児童生徒の行動等の背景にある特性について理解するなど実態把握をすることができる</li> <li>・児童生徒の食物アレルギー等の実態に応じた個別の教育支援計画の作成に参加し、それらに基づいた適切な指導・支援をすることができる</li> <li>・児童生徒への適切な指導・支援を行うために、管理職や他の教職員に相談しながら、校内の支援体制を活用して組織的に対応することができる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特別支援教育コーディネーターや指導教員等から助言を受け、個別の教育支援計画等の作成に参画し、SC等から助言を受け、支援のための知識・理解を深める</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特別支援教育等に関する基本的な知識を身に付ける</li> </ul> <p>&lt;研修例&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・初任者研修講座</li> <li>・初期研修講座</li> <li>・課題別研修講座</li> <li>・県教委主催研修会</li> <li>・研究会主催研修会</li> </ul>
ICTや情報・教育データの活用	学校給食管理や食に関する指導への活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校におけるICT活用の意義を理解し、学校給食の管理や食に関する指導等において、ICTを適切に活用することができる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・デジタル技術の活用や、情報活用能力の育成に係る実践について指導教員等の助言を受ける</li> <li>・ICT活用指導力を高めるため、教職員等で相談したり、協議したりする</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ICT活用に関する基本的な知識や技術を身に付ける</li> </ul> <p>&lt;研修例&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・初任者研修講座</li> <li>・初期研修講座</li> <li>・課題別研修講座</li> <li>・研究会主催研修会</li> </ul>
	ICT活用指導力	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校給食の管理や食に関する指導において、ICTを活用して情報の管理や発信をすることができる</li> </ul>		
	データの活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>・データを適切に活用することの意義と効果を理解し、活用することができる</li> </ul>		

イ 基礎定着期

		指標	校内研修	校外研修
教職に必要な素養	主体的に学び続ける姿勢	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境の変化を前向きに受け止め、よりよい教育の実現に向けて、研究と修養に励み、教員として常に学び続ける向上心を有している</li> <li>・教員としての仕事に対する使命感や誇りをもち、責任感をもって職務に当たっている</li> <li>・法令や服務規準の遵守を徹底し、高い倫理観を有するとともに、優れた自己管理能力を備えている</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育課題に関わる法的な位置付けや学習指導要領を理解し、主体的に対応できるように知識・理解を深める</li> <li>・教職員と連携等の方法等について協議しながら業務を遂行する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・主体的、意欲的に研修に取り組み、知識や理解を深める</li> <li>・連携等の具体的な方法を身に付ける</li> </ul> <p>&lt;研修例&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中堅教諭等資質向上研修講座</li> <li>・研究会主催研究会</li> </ul>
	コミュニケーション能力	<ul style="list-style-type: none"> <li>・豊かな人間性や人権感覚を有し、多様な児童生徒を受容するとともに、良好な人間関係を構築する力を備えている</li> <li>・状況や目的に応じて、相手の思いを正しく受け止め、自分の思いを適切に伝える優れたコミュニケーション能力を備えている</li> <li>・愛情をもって児童生徒との信頼関係を築いている</li> </ul>		
	マネジメント	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校の社会的役割を理解し、他の教職員と協働し、組織の一員として、自身の意見を効果的に伝えるなど積極的に教育課程や組織の運営に参画することができる</li> <li>・学校教育目標を理解し、年間指導計画に基づく食育の推進や学校給食の管理及び運営をすることができる</li> </ul>		
	連携・協働	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家庭や地域・関係機関等に対して、自校の食育推進の方針等を伝えつつ、それぞれの理解と協力を得ることができる</li> <li>・家庭や地域・関係機関等と良好な関係を築き、連携・協働した食育活動を推進することができる</li> </ul>		

		指標	校内研修	校外研修
	危機管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>・危機管理の重要性や自身の役割を十分理解し、事象発生時には適切に対応することができる</li> <li>・安心・安全な学校づくりに他の教職員と協働して取り組むことができる</li> </ul>		
専門領域における指導	栄養管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童生徒の実態を把握し、適切な栄養管理や教育的な配慮のある献立を作成することができる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教職員や地域の栄養教諭等と栄養管理や衛生管理について協議しながら業務を遂行する</li> <li>・他の教員の授業を参観する</li> <li>・教職員等と食に関する目標や取組内容を協議する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・他の栄養教諭等と栄養管理や衛生管理について協議しながら実践的指導力を向上させる</li> <li>・各教科等における食に関する指導の実践力を身に付ける</li> </ul> <p>&lt;研修例&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中堅教諭等資質向上研修講座</li> <li>・教科等専門研修講座</li> <li>・県教委主催研修会</li> <li>・研究会主催研修会</li> </ul>
	衛生管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校給食衛生管理基準に基づき、調理従事者への衛生管理指導や施設設備の改善に取り組むことができる</li> </ul>		
	各教科等における食に関する指導	<ul style="list-style-type: none"> <li>・食育の視点について理解し、専門的な立場から担任と協働し、食に関する指導を実践することができる</li> <li>・児童生徒の実態を把握し、栄養教諭の専門性を生かし、学級担任等と連携して食に関する指導を実践することができる</li> </ul>		
	個別的な相談指導	<ul style="list-style-type: none"> <li>・専門職としての知識を生かし、学級担任や養護教諭、学校医等と連携しながら児童生徒の発達段階に応じた対応や相談指導を行うことができる</li> </ul>		
	評価・改善	<ul style="list-style-type: none"> <li>・給食管理や食に関する指導の取組状況から自己の取組を評価し、課題を明確にした上で、改善に取り組むことができる</li> </ul>		

		指標	校内研修	校外研修
生徒指導	団 づ く り  児 童 生 徒 理 解 に 基 づ く 集	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童生徒の日々の観察を基に、行動の変化を細部まで見逃さず捉え、児童生徒の生活背景を踏まえた実態の把握を行うことができる</li> <li>・食に関する指導の全体計画や年間指導計画に基づき、状況に応じて自らの意見を述べ、食に関する指導を行うことができる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒指導担当教員等と相談したり協議したりする</li> <li>・学年や分掌等でテーマを決め、相談したり、協議したりする</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒指導や教育相談に関する専門的な知見を深め、具体的な指導方法を身に付ける</li> </ul> <p>〈研修例〉</p>
	指 導	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全ての児童生徒が自発的・主体的に自ら成長を促すことのできるよう寄り添い指導することができる</li> <li>・深刻な課題を抱える特定の児童生徒に対して、他の教職員や関係機関等と連携しながら事象への多様な対応をすることができる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生活指導に関する会議等で意見を述べたりする</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中堅教諭等資質向上研修講座</li> <li>・課題別研修講座</li> <li>・研究会主催研修会</li> </ul>
	教 育 相 談	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童生徒の状況に応じて、教育相談等の必要性を判断したり、S C・S S Wや関係機関等との円滑な連携を図ったりするために、児童生徒の実態等の現状について、他の教職員に確実に報告・連絡・相談することができる</li> <li>・教育相談に関わる基礎理論を理解し、様々な資質や能力の積極的な獲得を支援する教育相談を実践することができる</li> </ul>		

		指標	校内研修	校外研修
ICTや情報・教育データの利活用	特別な配慮や支援を必要とする児童生徒への対応	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童生徒が示すサインや健康課題等の早期発見に努め、児童生徒の行動等の背景にある特性について理解するなど実態把握をすることができる</li> <li>・児童生徒の食物アレルギー等の実態に応じた個別の教育支援計画の作成に参加し、それらに基づいた適切な指導・支援をすることができる</li> <li>・児童生徒への適切な指導・支援を行うために、管理職や他の教職員に相談しながら、校内の支援体制を活用して組織的に対応することができる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特別支援教育コーディネーター等と相談しながら、個別の教育支援計画等の作成に参画し、SC等から助言を受け、支援のための知識・理解を深める</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特別支援教育等に関する知識を深め、具体的な支援の方法を身に付ける</li> </ul> <p>〈研修例〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・課題別研修講座</li> <li>・研究会主催研修会</li> </ul>
	学校給食管理や食に関する指導への活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ICTを活用し、効率的な学校給食の管理と効果的な食に関する指導ができる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・デジタル技術の活用や、情報活用能力の育成に係る実践について教職員等と協議する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ICT活用指導力を向上させ、具体的な指導方法を身に付ける</li> </ul> <p>〈研修例〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・課題別研修講座</li> <li>・研究会主催研修会</li> </ul>
	ICT活用指導力	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ICTを活用した食に関する指導を行うことができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ICT活用指導力を高めるため、教職員等で相談したり、協議したりする</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・研究会主催研修会</li> </ul>
データの利活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童生徒の健康課題等の改善のため、データを適切に活用し、指導に役立てることができる</li> </ul>			

ウ 伸長期

		指標	校内研修	校外研修
教職に必要な素養	主体的に学び続ける姿勢	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境の変化を前向きに受け止め、よりよい教育の実現に向けて、研究と修養に励み、教員として常に学び続ける向上心を有している</li> <li>・教員としての仕事に対する使命感や誇りをもち、責任感をもって職務に当たっている</li> <li>・法令や服務規準の遵守を徹底し、高い倫理観を有するとともに、優れた自己管理能力を備えている</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育課題に関わる法的な位置付けや学習指導要領を理解して、主体的に対応する</li> <li>・校務分掌を担う中核教員等と連携し業務を遂行する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・主体的、意欲的に研修に取り組み、知識や理解を向上する</li> <li>・連携等の具体的な方法について助言する力を身に付ける</li> </ul> <p>〈研修例〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・キャリアアップ研修講座</li> <li>・N I T S 研修講座</li> <li>・研究会主催研修会</li> </ul>
	コミュニケーション能力	<ul style="list-style-type: none"> <li>・豊かな人間性や人権感覚を有し、多様な児童生徒を受容するとともに、良好な人間関係を構築する力を備えている</li> <li>・状況や目的に応じて、相手の思いを正しく受け止め、自分の思いを適切に伝える優れたコミュニケーション能力を備えている</li> <li>・愛情をもって児童生徒との信頼関係を築いている</li> </ul>		
	マネジメント	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自身や学校の強み・弱みを理解し、学校組織をつなぐ中核として、業務の見直しや課題解決に向けて、教育課程や組織の運営に関して他の教職員に助言することができる</li> <li>・食育の推進や学校給食運営に積極的に関わり、学校教育目標の具現に向け、工夫・改善することができる</li> <li>・学年・分掌経営等に取り組むとともに、食育の推進に関して他の教職員に助言することができる</li> </ul>		
	連携・協働	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家庭や地域・関係機関等と連携・協働し、自校の食に関する課題を解決するための手法を他の教職員に助言することができる</li> </ul>		

栄養教諭等  
伸長期

指標		校内研修	校外研修
	危機管理		
専門領域における指導	栄養管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教職員や地域の栄養教諭等と栄養管理や衛生管理について協議しながら業務を遂行するとともに、必要に応じて指導・助言をする</li> <li>・教員等の授業を参観し、必要に応じて助言する</li> <li>・教職員等と食に関する目標や取組内容を協議する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・専門的知識と実践力を向上させるとともに助言する力を身に付ける</li> <li>・各教科等における食に関する指導に係る実践力を向上する</li> </ul> 〈研修例〉 <ul style="list-style-type: none"> <li>・教科等専門研修講座</li> <li>・N I T S 研修講座</li> <li>・県教委主催研修会</li> <li>・研究会主催研修会</li> </ul>
	衛生管理		
	各教科等における食に関する指導		
	個別的な相談指導		
	評価・改善		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・危機の未然防止に率先して取り組むことができる</li> <li>・危機管理の具体的な方法について、他の教職員に助言することができる</li> </ul>		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の実情等に十分配慮し、教科等と連携した魅力ある献立を作成することができる</li> <li>・調理従事者や調理場などの衛生管理について、日常的に評価・改善に努めるとともに、適切に指導・助言することができる</li> <li>・教科等のねらいを理解し、学習内容に食育の視点を位置づけ、意図的に指導することができる</li> <li>・給食時の指導計画を示し、献立や使用されている食品を活用した効果的な指導を実践することができる</li> <li>・個別的な相談指導に関する専門性を高め、効果的な個別指導を工夫・改善し、適切に対応することができる</li> <li>・食に係る実態や目標達成度から給食管理と食に関する指導について適切に評価し、課題に対する解決方法を明確にして改善に取り組むことができる</li> </ul>		



		指標	校内研修	校外研修
生徒指導	団づくり 児童生徒理解に基づき集	<ul style="list-style-type: none"> <li>児童生徒一人一人の変化を的確に捉え、直ちにその変化の要因を確認し、児童生徒の情報を収集し、それを他の教職員と共有することができる</li> <li>自校の食に関する指導の全体計画に基づき、具体目標と計画の設定及び見直しを行うことができる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒指導担当教員等による研修や指導・助言を受ける</li> <li>学年や分掌等でテーマを決め、相談したり、協議したりする</li> <li>生活指導に関する会議等で意見を述べたりする</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒指導、教育相談に関する具体的な指導方法について助言する力を身に付ける</li> </ul> <p>〈研修例〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>課題別研修講座</li> <li>研究会主催研修会</li> </ul>
	指導	<ul style="list-style-type: none"> <li>深刻な課題を抱える特定の児童生徒に対して、自校の生徒指導の方針に基づき、教職員の連携し組織的に事象に対応することができる</li> <li>児童生徒の良さを引き出しながら、個や集団に応じた指導を進めることができる</li> </ul>		
	教育相談	<ul style="list-style-type: none"> <li>教育相談等の必要性を判断し、SC・SSWや関係機関等との効果的な連携・協力を推進するとともに、他の教職員に対して専門的な知識を生かし指導・助言することができる</li> <li>教育相談に関わる基礎理論を深く理解し、様々な資質や能力の積極的な獲得を支援する教育相談の組織的な取組を推進することができる</li> </ul>		

		指標	校内研修	校外研修
ICTや情報・教育データの利活用	特別な配慮や支援を必要とする児童生徒への対応	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童生徒の個別の健康課題に対応するために、専門的な知見を活用し適切な指導・支援について他の教職員に指導・助言することができる</li> <li>・特別な配慮や支援への対応について、専門的な知見を活用しながら総合的に判断し、校内の体制整備等の具体的な方策を提案することができる</li> <li>・福祉・医療等の関係機関や専門家等と連携しながら、組織的・継続的に対応することができる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特別支援教育コーディネーター等と協議し、個別の教育支援計画等の作成に参画し、SC等から助言を受け、支援のための知識・理解を深める</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特別支援教育等に関する具体的な支援の方法等について助言する力を身に付ける</li> </ul> <p>〈研修例〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・課題別研修講座</li> <li>・研究会主催研修会</li> </ul>
	学校給食管理や食に関する指導への活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校給食の管理や食に関する指導等において適切かつ効果的にICTを活用し、自己の実践を振り返り改善に取り組むとともに、他の教職員と連携・協働し取り組むことができる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・デジタル技術の活用や、情報活用能力の育成に係る実践について教職員と協議する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ICTを活用した効果的な指導について助言する力を身に付ける</li> </ul> <p>〈研修例〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・課題別研修講座</li> <li>・研究会主催研修会</li> </ul>
	ICT活用指導力	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ICTを学習のツールとして活用し、効果的な食に関する指導を実践できるよう工夫することができる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ICT活用指導力を高めるため、教職員等で相談したり、協議したりする</li> </ul>	<p>〈研修例〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・課題別研修講座</li> <li>・研究会主催研修会</li> </ul>
データの利活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個々の児童生徒の健康課題の改善を目指し、データを適切かつ効果的に活用した指導・支援について具体的に提案することができる</li> </ul>			

エ 充実期

		指標	校内研修	校外研修
教職に必要な素養	主体的に学び続ける姿勢	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境の変化を前向きに受け止め、よりよい教育の実現に向けて、研究と修養に励み、教員として常に学び続ける向上心を有している</li> <li>・教員としての仕事に対する使命感や誇りをもち、責任感をもって職務に当たっている</li> <li>・法令や服務規準の遵守を徹底し、高い倫理観を有するとともに、優れた自己管理能力を備えている</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育課題に関わる法的な位置付けや学習指導要領を理解して、主体的に対応する</li> <li>・自校の健康課題を共有し、課題解決に向けて取り組むための体制づくりについて具体的な提案をする</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・資質・能力の向上を目指し主体的に研修に取り組む</li> <li>・課題解決に向けた具体的方法について助言する力を身に付ける</li> </ul> <p>〈研修例〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・キャリアアップ研修講座</li> <li>・N I T S 研修講座</li> <li>・研究会主催研修会</li> </ul>
	コミュニケーション能力	<ul style="list-style-type: none"> <li>・豊かな人間性や人権感覚を有し、多様な児童生徒を受容するとともに、良好な人間関係を構築する力を備えている</li> <li>・状況や目的に応じて、相手の思いを正しく受け止め、自分の思いを適切に伝える優れたコミュニケーション能力を備えている</li> <li>・愛情をもって児童生徒との信頼関係を築いている</li> </ul>		
	マネジメント	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校組織マネジメントの意義を理解し、自校の特性を見極め、状況に応じて教職員が能力を発揮できる体制づくりについて提案することができる</li> <li>・学校教育目標の実現に向け、教育課程を点検することを通して、学校改善を推進することができる</li> <li>・組織的に学校改善を推進するための具体的な方法について、他の教職員に助言することができる</li> </ul>		
	連携・協働	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自校の課題解決に向け、学校内外における様々な人々と広く連携・協働を図るための組織づくりについて提案することができる</li> <li>・自校の課題解決に向け、家庭や地域・関係機関等との連携・協働を推進するための具体的な方法について、他の教職員に指導・助言することができる</li> </ul>		

栄養教諭等  
充実期

		指標	校内研修	校外研修
	危機管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自校の危機管理体制を常に点検することができる</li> <li>・危機管理に関する課題解決に向けた提案、改善など具体的な方法を他の教職員に指導・助言することができる</li> </ul>		
専門領域における指導	栄養管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校給食の献立作成や調理、配食に関し、地域の栄養教諭等の中心的な役割を果たすことができる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教職員や地域の栄養教諭等と栄養管理や衛生管理について協議しながら業務を遂行するとともに、必要に応じて指導・助言をする</li> <li>・教員等の授業を参観し、必要に応じて助言する</li> <li>・教職員等と食に関する目標や取組内容を協議する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・栄養管理や衛生管理について具体的な方法等について指導・助言する力を身に付ける</li> </ul> <p>〈研修例〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教科等専門研修講座</li> <li>・N I T S 研修講座</li> <li>・県教委主催研修会</li> <li>・研究会が主催する研修会</li> </ul>
	衛生管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>・衛生管理に関して、常に新しい知識を習得し、地域の指導的役割を果たすことができる</li> </ul>		
	各教科等における食に関する指導	<ul style="list-style-type: none"> <li>・食に関する指導の中心的な役割を担い、食育の充実に向け他の教職員に適切に助言することができる</li> <li>・地域の食文化や地場産物等を理解し、学校給食の献立と食に関する指導を関連付けながら、地域の関係者と連携し取り組むことができる</li> </ul>		
	個別的な相談指導	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個別的な相談指導の具体的な方法について、他の教職員に指導・助言することができる</li> </ul>		
	評価・改善	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自校や地域の食に関する課題への対応から給食管理と食に関する指導について適切に評価し、率先して改善に取り組むことができる</li> </ul>		

		指標	校内研修	校外研修
生徒指導	児童生徒理解に基づく集団づくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 事象の要因を確認する際の対応及びその情報の取扱いを適切に行い、具体的指導例を伴って、他の教職員とともに対応することができる</li> <li>・ 自校の教育目標の実現に向け、食に関する指導の全体計画を点検することを通して、改善に取り組むことができる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 生徒指導担当教員等による研修や指導・助言を受ける</li> <li>・ 学年や分掌等でテーマを決め、相談したり、協議したりする</li> <li>・ 生活指導に関する会議等で意見を述べたりする</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 生徒指導や教育相談に関する具体的な指導方法等について、専門的知識に基づき助言する力を身に付ける</li> </ul> <p>〈研修例〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ キャリアアップ研修講座</li> <li>・ 課題別研修講座</li> <li>・ N I T S 研修講座</li> <li>・ 研究会主催研修会</li> </ul>
	指導	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 深刻な課題を抱える児童生徒への対応について、専門的知識を生かし、他の教職員の指導方法について指導・助言することができる</li> <li>・ 個や集団に応じた指導の在り方について他の教職員に対して的確に助言することができる</li> </ul>		
	教育相談	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 教育相談等の必要性を判断し、S C ・ S S W や関係機関等との効果的な連携・協力を推進するとともに、他の教職員に対して専門的知識を生かし指導・助言することができる</li> <li>・ 教育相談に関わる基礎理論を深く理解し、様々な資質や能力の積極的な獲得を支援する教育相談の組織的な取組を推進することができる</li> </ul>		

栄養教諭等  
充実期

		指標	校内研修	校外研修
ICTや情報・データの利活用	特別な配慮や支援を必要とする児童生徒への対応	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童生徒の個別の健康課題に対応するために、専門的な知見を活用し適切な指導・支援について他の教職員に指導・助言することができる</li> <li>・特別な配慮や支援への対応について、専門的な知見を活用しながら総合的に判断し、校内の体制整備等の具体的な方策を提案することができる</li> <li>・福祉・医療等の関係機関や専門家等と連携しながら、組織的・継続的に対応することができる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特別支援教育コーディネーター等と協議し、個別の教育支援計画等の作成に参画し、SC等から助言を受け、支援のための知識・理解を深める</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特別支援教育等に関する具体的な指導方法等について助言をする力を身に付ける</li> </ul> 〈研修例〉 <ul style="list-style-type: none"> <li>・課題別研修講座</li> <li>・研究会主催研修会</li> </ul>
	学校給食管理や食に関する指導への活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校給食の管理や食に関する指導等においてICTを多様な視点で活用し、学校内外の中核となって取り組むとともに、効果的な活用について他の教職員に指導・助言することができる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・デジタル技術の活用や、情報活用能力の育成に係る実践について教職員と協議する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ICTを活用した効果的な指導について助言する力を身に付ける</li> </ul> 〈研修例〉 <ul style="list-style-type: none"> <li>・課題別研修講座</li> <li>・研究会主催研修会</li> </ul>
	ICT活用指導力	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童生徒がICTを学習のツールとして使いこなし、食に関する指導を進められるように、児童生徒の発達段階に応じて指導を工夫することができる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ICT活用指導力を高めるため、教職員等で相談したり、協議したりする</li> </ul>	〈研修例〉 <ul style="list-style-type: none"> <li>・課題別研修講座</li> <li>・研究会主催研修会</li> </ul>
データの利活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>・データの利活用に係る校内外の組織の整備を図るとともに、改善や効果的な活用に向け、評価・改善を行うことができる</li> </ul>			

(4) 市町村立小中学校事務職員

ア 基礎形成期（目安：経験3年目以下の主事）

指標		校内研修	校外研修
学校事務職員に必要な素養	主体的に学び続ける姿勢	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童生徒や教職員とのコミュニケーションを大切にするとともに、校内での研修・研究に関して自分の意見を伝える</li> <li>・職員会議や職員研修等の内容を理解し、管理職や教職員から自分の役割について助言を受けながら校務に参画する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・必要な資質・能力の向上を目指して、主体的・意欲的に研修に取り組む</li> <li>・家庭や地域との連携や学校安全に関する基礎・基本を身に付ける</li> </ul>
	コミュニケーション能力	<ul style="list-style-type: none"> <li>・豊かな人間性や人権感覚を有し、多様な児童生徒を受容するとともに、良好な人間関係を構築する力を備えている</li> <li>・状況や目的に応じて、相手の思いを正しく受け止め、自分の思いを適切に伝え、職場内外で協調性・調整力を発揮する優れたコミュニケーション能力を備えている</li> <li>・愛情をもって児童生徒に接し、信頼関係を築いている</li> </ul>	<p>&lt;研修例&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新規採用者研修講座</li> <li>・初期研修講座</li> <li>・教科等専門研修講座</li> <li>・課題別研修講座</li> <li>・ちょっと学びタイム研修講座</li> <li>・N I T S 研修講座</li> <li>・研究会主催研修会</li> </ul>
	企画運営調整・マネジメント	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自校の教育目標を理解し、児童生徒一人一人を大切にした学校づくりに取り組むことができる</li> <li>・学校組織マネジメントの仕組みを理解し、行政職員として果たすべき役割を意識して職務を遂行することができる</li> </ul>	
	連携・協働	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校間及び地域や関係機関等との連携の実態を把握することができる</li> <li>・地域との連携活動に積極的に関わって地域の人材・資源を知るとともに、地域コーディネーターの役割や仕事内容を理解することができる</li> </ul>	

学校事務職員  
基礎形成期

指標		校内研修	校外研修
	危機管理		
	活動 児童生徒理解・教育		
専門領域における業務遂行	業務設計	<ul style="list-style-type: none"> <li>・校外研修及び、グループワーキングや共同学校事務室、研究会活動等で得た知識をもとに主体的に業務に取り組む</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職務やその在り方を理解し、学校事務に関する専門的知識と実践力を身に付ける</li> </ul> <研修例> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新規採用者研修講座</li> <li>・初期研修講座</li> <li>・教科等専門研修講座</li> <li>・ちょっと学びタイム研修講座</li> <li>・N I T S 研修講座</li> <li>・県教委主催研修会</li> <li>・研究会主催研修会</li> </ul>
	業務実践		
	評価・改善		
	グループワーキング・共同学校事務室		



		指標	校内研修	校外研修
ICTや情報・教育データの利活用	特別な配慮や支援を必要とする児童生徒への対応	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童生徒の行動等の背景にある特性について理解し、その特性に応じた配慮や支援をすることができる</li> <li>・課題を抱える児童生徒やその保護者に対して、担当分掌業務を通して情報提供や環境整備等の支援をすることができる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員会議や職員研修等で児童生徒の実態を把握し、支援のための知識・理解を深める</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特別支援教育等に関する基礎的・基本的な知識を身に付ける</li> </ul> <p>&lt;研修例&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新規採用者研修講座</li> <li>・初期研修講座</li> <li>・課題別研修講座</li> <li>・N I T S 研修講座</li> <li>・研究会主催研究会</li> </ul>
	校務への活用 教育データの活用支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ICT活用についての知識・技能を身に付け、学校事務の遂行において、ICTを適切に活用することができる</li> <li>・教育データを適切に活用することの意義と効果を理解するとともに、自校の活用実態を把握することができる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・校務において積極的にICTを活用する</li> <li>・職員会議や職員研修等に参加して校内の教育データ活用の実態を把握する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ICT活用の基礎・基本を身に付ける</li> </ul> <p>&lt;研修例&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新規採用者研修講座</li> <li>・ちょっと学びタイム研修講座</li> <li>・N I T S 研修講座</li> </ul>

学校事務職員  
基礎形成期

イ 基礎定着期（目安：経験4年目以上の主事・主任主事）

		指標	校内研修	校外研修
学校事務職員に必要な素養	主体的に学び続ける姿勢	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境の変化を前向きに受け止め、児童生徒の育ちを支援するために、教職員として長期的視野に立った自己研鑽を積み、常に学び続ける向上心を有している</li> <li>・教職員としての仕事に対する使命感や誇りを持ち、責任感をもって職務に当たっている</li> <li>・法令や服務規準の遵守を徹底し、高い倫理観を有するとともに、優れた自己管理能力を備えている</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童生徒や教職員とのコミュニケーションを大切にするとともに、校内での研修・研究に関して自分の意見を適切に伝える</li> <li>・教育課程や自校の教育課題について理解を深め、組織の一員として、会議等で課題解決の方法を検討する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・必要な資質・能力の向上を目指して、主体的・意欲的に研修に取り組む</li> <li>・家庭や地域・関係機関等との連携や学校安全に関する具体的な進め方や適切な対応方法を身に付ける</li> </ul> <研修例> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教科等専門研修講座</li> <li>・課題別研修講座</li> <li>・ちょっと学びタイム研修講座</li> <li>・N I T S 研修講座</li> <li>・研究会主催研修会</li> </ul>
	コミュニケーション能力	<ul style="list-style-type: none"> <li>・豊かな人間性や人権感覚を有し、多様な児童生徒を受容するとともに、良好な人間関係を構築する力を備えている</li> <li>・状況や目的に応じて、相手の思いを正しく受け止め、自分の思いを適切に伝え、職場内外で協調性・調整力を発揮する優れたコミュニケーション能力を備えている</li> <li>・愛情をもって児童生徒に接し、信頼関係を築いている</li> </ul>		
	企画運営調整・マネジメント	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校の社会的役割を理解し、他の教職員と協働し、組織の一員として、自身の意見を効果的に伝えるなど積極的に学校運営に参画することができる</li> </ul>		

指標		校内研修	校外研修
	連携・協働		
	危機管理		
	活動 児童生徒理解・教育		
専門領域における業務遂行	業務設計	<ul style="list-style-type: none"> <li>・校外研修で学んだ知識を生かして、校内で行う業務の効率化や改善等を行う</li> <li>・児童生徒の教育活動を参観して、自分の業務と結びつけて支援方法を検討する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校事務職員としての専門性と実践力を高める</li> </ul> <研修例> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教科等専門研修講座</li> <li>・ちょっと学びタイム研修講座</li> <li>・N I T S 研修講座</li> <li>・県教委主催研修会</li> <li>・研究会主催研修会</li> </ul>
	業務実践		

学校事務職員  
基礎定着期

指標		校内研修	校外研修
評価・改善	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自己の業務の進捗状況や完成度から進め方や手順を評価し、課題を明確にした上で、改善に取り組むことができる</li> <li>・ 他の教職員と協働する業務について協議し改善に生かすことができる</li> </ul>		
グループワーク グ・共同学校事務室	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自己の役割を理解し、他の事務職員と協働して取り組むことができる</li> </ul>		
特別な配慮や支援を必要とする児童生徒への対応	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 児童生徒の行動等の背景にある特性について理解し、その特性に応じた配慮や支援をすることができる</li> <li>・ 課題を抱える児童生徒やその保護者に対して、担当分掌業務を通して情報提供や環境整備等の支援をすることができる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 特別支援学級担当や生徒指導担当教員等から、特別な配慮や支援を必要とする児童生徒への対応方法を学ぶ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 特別支援教育等に関する専門的な知識・理解を深め、適切な支援方法について理解する</li> </ul> <p>&lt;研修例&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 課題別研修講座</li> <li>・ N I T S 研修講座</li> <li>・ 研究会主催研修会</li> </ul>

		指標	校内研修	校外研修
ICTや情報・教育データの利活用	校務への活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校事務の効率化を図るために、ICTを活用した効果的な業務改善に取り組むことができる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ICTを効果的に活用した業務実践を提案する</li> <li>自校の学習指導と生徒指導等の改善のための、教育データ活用の課題を理解する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ICT活用力を向上させるとともに、他校の効果的な教育データ活用情報を入手する</li> </ul> <p>&lt;研修例&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>教科等専門研修講座</li> <li>ちょっと学びタイム研修講座</li> <li>NITS研修講座</li> </ul>
	教育データの利活用支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>学習指導と生徒指導等の改善のための、自校の教育データ活用を支援することができる</li> </ul>		

ウ 伸長期（目安：主査）

		指標	校内研修	校外研修
学校事務職員に必要な素養	主体的に学び続ける姿勢	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境の変化を前向きに受け止め、児童生徒の育ちを支援するために、教職員として長期的視野に立った自己研鑽を積み、常に学び続ける向上心を有している</li> <li>教職員としての仕事に対する使命感や誇りをもち、責任感をもって職務に当たっている</li> <li>法令や服務規準の遵守を徹底し、高い倫理観を有するとともに、優れた自己管理能力を備えている</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>児童生徒や教職員とのコミュニケーションを大切にするとともに、校内での研修・研究に関して他者の意見を受け止め、自分の意見を適切に伝える</li> <li>自校の教育課題を分析・重点化し、研修・研究等の機会を通して対応方法を検討する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>必要な資質・能力の向上を目指して、主体的・意欲的に研修に取り組む</li> <li>家庭や地域・関係機関等との連携や危機管理に関する具体的な進め方や適切な対応方法について具体的に助言する力を身に付ける</li> </ul> <p>&lt;研修例&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>中堅教諭等資質向上研修講座</li> <li>キャリアアップ研修講座</li> <li>教科等専門研修講座</li> <li>課題別研修講座</li> <li>NITS研修講座</li> <li>研究会主催研修会</li> </ul>

学校事務職員  
基礎定着期  
伸長期  
学校事務職員

指標		校内研修	校外研修
コミュニケーション能力	<ul style="list-style-type: none"> <li>・豊かな人間性や人権感覚を有し、多様な児童生徒を受容するとともに、良好な人間関係を構築する力を備えている</li> <li>・状況や目的に応じて、相手の思いを正しく受け止め、自分の思いを適切に伝え、職場内外で協調性・調整力を発揮する優れたコミュニケーション能力を備えている</li> <li>・愛情をもって児童生徒に接し、信頼関係を築いている</li> </ul>		
企画運営調整・マネジメント	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校評価や監査結果等から自校の取組の成果と課題を検証し、学校組織をつなぐ中核として、業務の見直しや課題解決に向けて、他の教職員に助言することができる</li> </ul>		
連携・協働	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校運営協議会・学校評議員会等に参画し、自校の活動を伝えつつ理解と協力を得ることができる</li> <li>・家庭や地域・関係機関等と連携・協働した活動を計画・推進するとともに、自校の課題を解決するための手法について他の教職員に助言することができる</li> </ul>		
危機管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>・安全点検の集約やマニュアル整備など、教職員の中心となって危機の未然防止に取り組むことができる</li> <li>・自校の危機管理の具体的な方法について、他の教職員に助言することができる</li> </ul>		

学校事務職員  
仲長期

		指標	校内研修	校外研修
	児童生徒理解・教育活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>各種校内対策委員会等に参画して自校の教育課題に対する解決策を検討するとともに、教職員とともに課題解決に取り組むことができる</li> <li>自校の授業研究等に参画して児童生徒の活動実態を把握し、支援体制・環境整備について提案することができる</li> </ul>		
専門領域における業務遂行	業務設計	<ul style="list-style-type: none"> <li>自校の教育目標の達成に向けて、目標と実践と評価が一体化した事務部経営計画を立案できる</li> <li>職務に対する高度な知識と経験を踏まえて、学校事務の業務改善を提案できる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校事務の業務改善を検討し職員会議等で提案するとともに、教職員の業務に関して助言を行う</li> <li>校内での研修・研究に積極的に参加して、自分の業務を通してできる教育目標達成に向けた支援等について提案する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>実践力を養うとともに、積極的に他校の効果的な取組実践を入手する</li> </ul> <p>&lt;研修例&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>中堅教諭等資質向上研修講座</li> <li>キャリアアップ研修講座</li> <li>教科等専門研修講座</li> <li>N I T S 研修講座</li> <li>県教委主催研修会</li> <li>研究会主催研修会</li> </ul>
	業務実践	<ul style="list-style-type: none"> <li>事務部主任としてマネジメントの手法を取り入れて事務部経営を遂行することができる</li> <li>職務に対する高度な知識と経験を踏まえて、他の教職員が担当する学校事務に関して助言することができる</li> <li>自校の研究活動に参画し、学校事務と結び付けて研究推進に取り組むことができる</li> </ul>		
	評価・改善	<ul style="list-style-type: none"> <li>目標達成度から適切に学校事務を評価し、課題に対する解決方法を明確にして改善に取り組むことができる</li> <li>他の教職員が担当する学校事務に対して、具体的な改善案を示しつつ、助言することができる</li> </ul>		
	グループワーキング・共同学校事務室	<ul style="list-style-type: none"> <li>自ら役割を担いそれを的確に果たすとともに、積極的に他の事務職員を支援することができる</li> </ul>		

学校事務職員  
伸長期

		指標	校内研修	校外研修
特別な配慮や支援を必要とする児童生徒への対応		<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校全体に係る特別支援教育を理解し、適切な支援方法についての情報等を収集して自校の活動を支援することができる</li> <li>・特別な配慮や支援への対応に関する校内の体制整備等の具体的な方策を、行政職員の視点から提案することができる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童生徒一人一人の特性に応じた適切な支援を行うための環境整備について助言・提案を行う</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特別支援教育等に関する適切な支援を行うための環境整備について助言する力を身に付ける</li> </ul> <p>&lt;研修例&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中堅教諭等資質向上研修講座</li> <li>・課題別研修講座</li> <li>・N I T S 研修講座</li> <li>・研究会主催研修会</li> </ul>
ICTや情報・教育データの活用	校務への活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教職員が校内情報を共有するための環境を整備し、利活用を促進することができる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ICT活用における環境整備について、改善策を提案する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ICTを校務に活用したり教育データを効果的に活用したりするうえで必要な環境整備について助言する力を身に付ける</li> </ul> <p>&lt;研修例&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・N I T S 研修講座</li> </ul>
	支援 教育データの活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教職員が教育データを適切かつ効果的に活用するための環境を整備し、活用を促進することができる</li> </ul>		



エ 充実期（目安：主任主査）

		指標	校内研修	校外研修
学校事務職員に必要な素養	主体的に学び続ける姿勢	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境の変化を前向きに受け止め、児童生徒の育ちを支援するために、教職員として長期的視野に立った自己研鑽を積み、常に学び続ける向上心を有している</li> <li>・教職員としての仕事に対する使命感や誇りをもち、責任感をもって職務に当たっている</li> <li>・法令や服務規準の遵守を徹底し、高い倫理観を有するとともに、優れた自己管理能力を備えている</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童生徒や教職員とのコミュニケーションを大切にするとともに、校内での研修・研究に関して他者の意見を受け止め、自分の意見を適切に伝え、改善策等を提案する</li> <li>・自校の教育課題を共有し、課題解決に向けて教職員が組織的に対応できる体制づくりについて提案する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・必要な資質・能力の向上を目指して、主体的・意欲的に研修に取り組む</li> <li>・家庭や地域・関係機関等との連携や危機管理に関する具体的な進め方や適切な対応方法について学校経営の視点から具体的に指導・助言する力を身に付ける</li> </ul>
	コミュニケーション能力	<ul style="list-style-type: none"> <li>・豊かな人間性や人権感覚を有し、多様な児童生徒を受容するとともに、良好な人間関係を構築する力を備えている</li> <li>・状況や目的に応じて、相手の思いを正しく受け止め、自分の思いを適切に伝え、職場内外で協調性・調整力を発揮する優れたコミュニケーション能力を備えている</li> <li>・愛情をもって児童生徒に接し、信頼関係を築いている</li> </ul>		<p>&lt;研修例&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・キャリアアップ研修講座</li> <li>・教科等専門研修講座</li> <li>・課題別研修講座</li> <li>・N I T S 研修講座</li> <li>・研究会主催研修会</li> </ul>
	企画運営調整	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自校の教育目標の達成に向けて、学校組織マネジメントの手法を取り入れながら学校経営計画を推進するとともに、学校評価結果を反映させた学校改善を推進することができる</li> <li>・自校の特性を見極め、状況に応じて教職員が能力を発揮できる体制づくりを提案することができる</li> </ul>		

学校事務職員  
充実期

		指標	校内研修	校外研修
	連携・協働	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自校の課題解決に向け、学校内外における様々な人々と広く連携・協働を図るための組織づくりを行うとともに、学校を取り巻く資源を効果的に活用することができる</li> <li>・自校の課題解決に向け、家庭や地域・関係機関等との連携・協働を推進するための具体的な方法について、他の教職員に指導・助言することができる</li> </ul>		
	危機管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自校の危機管理体制を常に点検することができる</li> <li>・危機管理に関する課題解決に向けた提案・改善等、具体的な方法について他の教職員に指導・助言することができる</li> </ul>		
	児童生徒理解・教育活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自校の取り組むべき教育課題を明らかにし、目標達成のための効果的な手段を提案するなどして、組織的な取組を推進することができる</li> <li>・自校のカリキュラム・マネジメントの推進に率先して取り組むことができる</li> </ul>		
務遂行	業務設計	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自校の教育目標達成の観点から、他の分掌と融合できる事務部経営計画を立案し、学校経営計画の構想等に対して助言することができる</li> <li>・俯瞰的視野に立って学校業務の改善を提案することができる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・専門領域における具体的な業務遂行方法等について、他の教職員に指導・助言する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・専門領域における具体的な業務遂行方法等について、他の教職員に指導・助言する力を身に付ける</li> </ul>

	<p style="text-align: center;">業務実践</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職務に対する高度な知識と経験を踏まえて、学校事務に関する諸規定を整備するとともに、他の教職員が担当する学校事務に関して指導・助言することができる</li> <li>・今日的な教育の動向を把握し、学校事務と結び付けて必要となる専門性を追求するための研究に取り組むことができる</li> </ul>	<p>&lt;研修例&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・キャリアアップ研修講座</li> <li>・教科等専門研修講座</li> <li>・N I T S 研修講座</li> <li>・県教委主催研修会</li> <li>・研究会主催研修会</li> </ul>
--	---	---	--

		指標	校内研修	校外研修
	評価・改善	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自校の課題への対応や事務部経営目標の達成の視点から学校事務を適切に評価し、率先して改善に取り組むことができる</li> <li>・学校事務における業務改善をリードしつつ、他の教職員に指導・助言することができる</li> </ul>		
	グループワーク グ・共同学校事務室	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事務リーダーを補佐し、業務改善・効率化及びOJTによる人材育成を推進することができる</li> </ul>		
生徒への対応	特別な配慮や支援を必要とする児童	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校全体に係る特別支援教育を理解し、適切な支援方法についての情報等を収集して自校の活動を支援することができる</li> <li>・特別な配慮や支援への対応に関する校内の体制整備等の具体的な方策を、行政職員の視点から提案することができる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特別支援教育に関して学校経営の視点から校内の体制整備等の具体的な方策を検討し助言・提案を行う</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特別支援教育等に関して学校経営の視点から助言する力を身に付ける</li> </ul> <p>&lt;研修例&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・キャリアアップ研修</li> <li>・課題別研修講座</li> <li>・NITS研修講座</li> <li>・研究会主催研修会</li> </ul>
用	ICTや情報・教育データの利活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ICTを活用した学校事務の強化に取り組むとともに、ホームページ等による学校情報の発信を推進することができる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校情報の発信について教職員と検討する</li> <li>・各教員の授業や各分掌の取組状況を把握し、学校経営の視点から教育データの効果的な利活用を支援する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ICT活用について指導・助言する力を身に付ける</li> </ul> <p>&lt;研修例&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・NITS研修講座</li> </ul>
	校務への活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業改善や効果的な指導・支援を充実させるため、教育データの利活用に関する評価・改善について支援することができる</li> </ul>		

オ 充実期（事務リーダー）

		指標	校内研修	校外研修
学校事務職員に必要な素養	主体的に学び続ける姿勢	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境の変化を前向きに受け止め、児童生徒の育ちを支援するために、教職員として長期的視野に立った自己研鑽を積み、常に学び続ける向上心を有している</li> <li>・教職員としての仕事に対する使命感や誇りをもち、責任感をもって職務に当たっている</li> <li>・法令や服務規準の遵守を徹底し、高い倫理観を有するとともに、優れた自己管理能力を備えている</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校事務職員組織内の事務職員をリードし、資質向上のために指導・助言する力を身に付ける</li> </ul> <p>&lt;研修例&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・キャリアアップ研修講座</li> <li>・教科等専門研修講座</li> <li>・課題別研修講座</li> <li>・N I T S 研修講座</li> <li>・研究会主催研修会</li> </ul>
	コミュニケーション能力	<ul style="list-style-type: none"> <li>・豊かな人間性や人権感覚を有し、多様な児童生徒を受容するとともに、良好な人間関係を構築する力を備えている</li> <li>・状況や目的に応じて、相手の思いを正しく受け止め、自分の思いを適切に伝え、職場内外で協調性・調整力を発揮する優れたコミュニケーション能力を備えている</li> <li>・愛情をもって児童生徒に接し、信頼関係を築いている</li> </ul>		
	企画運営調整・マネジメント	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事務職員組織の目指す目標を定めて意識の共有を図り、その達成に向けて組織内の事務職員を支援しリードすることができる</li> </ul>		
	連携・協働	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事務職員組織における業務の円滑な遂行のために、校長会・教頭会及び教育委員会や関係機関等と連携を図ることができる</li> </ul>		

指標		校内研修	校外研修
	危機管理		
	児童生徒理解・教育活動		
専門領域における業務遂行	業務設計		<ul style="list-style-type: none"> <li>学校事務職員組織内の事務職員が、各校において専門領域における業務を円滑に遂行できるよう支援する力を身に付ける</li> </ul>
	業務実践		
	評価・改善		
	グループワーキング 共同学校事務室		

学校事務職員  
充実期

		指標	校内研修	校外研修
特別な配慮や支援を必要とする児童生徒への対応		<ul style="list-style-type: none"> <li>・事務職員組織内の学校の特別な配慮や支援対応に関する課題解決に向けて、情報提供等の支援をすることができる</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・特別な配慮や支援対応に関する課題解決のための力を身に付ける</li> </ul> <研修例> <ul style="list-style-type: none"> <li>・課題別研修講座</li> <li>・N I T S 研修講座</li> <li>・研究会主催研修会</li> </ul>
ICTや情報・教育データの活用	校務への活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事務職員組織内の学校のICT活用による学校事務の強化をリードするとともに、教育委員会との連携により教育データ活用の環境整備を促進することができる</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・効果的なICT活用方法や教育データ活用のための環境整備について指導・助言する力を身に付ける</li> </ul> <研修例> <ul style="list-style-type: none"> <li>・N I T S 研修講座</li> </ul>
	教育データの活用支援			